

主な施策	事務 事業 番号	主要事務 事業名	事業概要	担 当 課	KPI（成果指標①）					KPI（成果指標②）					予算額 (千円)	
					指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値	指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値		
Ⅱ「彩りあるまち」の実現																
都市ブランドの確立（ポ ジティブな情報発信によ る北九州市のイメージ アップ）	1	情報発信強化 事業	本市の情報を市民へ正 確に迅速かつ分かりやす く、より効果的に届ける ため、SNSやLINEなどを活 用した情報発信を強化す る。	広報 戦略 課	市公式LINE の友だち登 録者数	R5	81,343 人	—	120,000	人						10,876
	2	シティプロ モーション推 進事業	テレビ、雑誌、SNSなど 多種多様なメディアを活 用して北九州市のポテン シャルやまちの魅力など ポジティブなイメージを 広く発信する。	広報 戦略 課	北九州市が 好きだと答 えた（肯定 的な回答を した）市民 の割合 （行政評価 市民アン ケート：毎 年度）	R5	87.0%	—	90.0	%						64,314

主な施策	事務 事業 番号	主要事務 事業名	事業概要	担 当 課	KPI（成果指標①）					KPI（成果指標②）					予算額 (千円)		
					指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値	指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値			
Ⅲ「安らぐまち」の実現																	
自助・共助・公助による 防災力のさらなる強化	1	地域と連携した避難所開設・運営事業	迅速な避難所の開設や地域防災力の向上等のため、市と地域住民が連携し避難所の開設・運営を行う。	危機管理課	参画する校区まちづくり協議会数	—	—	—	40	校区							7,600
	2	個別避難計画作成促進事業	災害発生時等に自力で避難することができない避難行動要支援者（高齢者や障害者等）の個別避難計画を、福祉専門職と連携して作成する。	危機管理課	個別避難計画作成率	R3	37.0%	R9年度までの目標：75.0%	70.0	%							4,900
	3	防災Action！プロモーション事業	市民への的確な防災知識の普及啓発により、市民の「自助」意識の醸成を図る。	危機管理課	避難行動が必要な市民のうち、実際に避難行動を行った市民の割合（行政評価市民アンケート：毎年度）	R6	64.4%	R9年度までの目標：80.0%	70.0	%	避難場所の確認や備蓄など日頃から災害への備えを行っている市民の割合（行政評価市民アンケート：毎年度）	R6	46.1%	R9年度までの目標：50.0%	48.0	%	990

主な施策	事務 事業 番号	主要事務 事業名	事業概要	担当 課	KPI（成果指標①）					KPI（成果指標②）					予算額 (千円)	
					指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値	指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値		
Ⅲ「安らぐまち」の実現																
インフラDXの推進による 市内建設業の生産性向上 および人材育成	1	i- Construction 推進事業	「i-Construction」の推進・普及拡大による建設業の生産性向上を目指し、受発注者の「i-Construction」に関する技術力の向上を図る。	技術 企画 課	「i- Constructi on」に関する体験会、技術研修参加者の満足度の向上 （事後アンケート：毎年度）	—	—	—	70.0	%						500
	2	公共工事関係 部署における 「しごと改革」推進事業	「公共工事関係部署のDX推進プラン」に基づき、市役所の工事関係部署の「しごと改革」を推進する。 また、公共工事に携わる市内建設業者の利便性向上を図り、「新・担い手3法」が目指す建設業の「働き方改革」を推進する。	技術 企画 課	庁内工事情報共有システムの利用率の増加	R4	25.0%	R11年度 までの 目標： 100.0%	70.0	%	公共工事にて遠隔臨場（オンライン検査、オンライン監督）の実施件数の増加	R4	56件	R11年度 までの 目標： 150件	90	件

主な施策	事務 事業 番号	主要事務 事業名	事業概要	担当 課	KPI（成果指標①）					KPI（成果指標②）					予算額 (千円)		
					指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値	指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値			
I 「稼げるまち」の実現																	
メガリージョンの視点による近隣市町との連携	1	メガリージョン推進事業	「稼げるまち」の実現に向け、メガリージョンの視点で、北部九州地域の一体的な発展を目指すため、連携中枢都市圏や下関市をはじめとする自治体間の連携を推進する。	政策課	北九州都市圏域内の宿泊者数	R1	2,338千人	—	R8.4月公表予定		関門エリアの観光消費額の増加（北九州市観光動態調査：毎年）	R3	646.8億円	R10年度までの目標：2657.4億円	単年度目標設定なし		13,039
若者のチャレンジ支援	2	シン・ジダイ創造事業（若者のチャレンジ応援）	若者の自由な発想や提案を引き出し、それらを実現させるための伴走支援等に取り組み、地域一体で「日本一若者を応援するまち・北九州市」の実現を目指すことで、若者の価値観や社会情勢の変化に対応し続けられる持続可能なまちづくりを進める。	Z世代課	北九州市の最近のイメージで「活躍する若者をよく目にするようになった」と答えた人の割合（市民意識調査：毎年度）	R6	8.6%	—	R6年度比増加								40,000
女性のキャリア形成支援	3	Woman's CHOICE推進事業	女性のキャリア実現、健康支援を目的として、父親の短時間勤務の推進やフェムテックの導入・活用に官民連携して取り組む。また、女性が、つながりや思いを共有・発信できる場の創出として、オンラインコミュニティを構築する。	Woman Will推進室	社会全体における男女平等達成感（北九州市の男女共同参画社会に関する調査：5年毎）	R4	10.7%	R9年度までの目標：15.0%	単年度目標設定なし								15,000

主な施策	事務 事業 番号	主要事務 事業名	事業概要	担 当 課	KPI（成果指標①）					KPI（成果指標②）						予算額 (千円)	
					指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値		指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値		
女性が働き続けることができる就労環境の整備の支援	4	ワーク・ライフ・バランス推進事業	多様な働き方や暮らし方を選択でき、活力ある豊かな社会の実現を目指して、企業等の取組の支援や、広報・啓発などワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進を図る。 また、「働きやすいまち北九州」の実現を目指し、北九州イクボス同盟の拡大や取組支援等を行う。	Woma n Will 推進 室	「仕事と生活の調和（ワークライフバランス）」が取れていると思う人の割合（「元気発進！子どもプラン（第3次計画）」点検・評価に伴う市民アンケート：毎年度）	R6	62.8%	—	R6年度比増加								5,925
戦略的国際連携の推進	5	海外プロモーション促進事業	既存の姉妹友好都市との交流や、新たな国・地域との関係性の構築を推進し、北九州市のポテンシャルを生かした更なるプロモーションにより北九州市のプレゼンス向上を図り、海外の活力を取り込むことで、北九州市の経済成長につなげる。	国際 政策 課	姉妹友好都市以外の都市や地域との連携基盤構築	—	—	—	1つ以上								18,875
Ⅱ「彩りあるまち」の実現																	
DXによる市民サービス向上	6	スマらく区役所サービスプロジェクト	行政手続きにかかる時間をできる限り短縮し、快適・便利な行政サービスを提供するため、手続きのオンライン化促進など、デジタル技術を活用した新たな窓口サービスの構築をフロントヤードからバックヤードまで総合的に進める。	DX・AI戦略室	集約する窓口業務に従事している職員の作業時間の削減	—	—	R9年度までの目標：対象業務の窓口職員作業時間▲50.0%	単年度目標設定なし								446,630

主な施策	事務 事業 番号	主要事務 事業名	事業概要	担当 課	KPI（成果指標①）					KPI（成果指標②）						予算額 (千円)	
					指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値		指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値		
都市ブランドの確立（ポ ジティブな情報発信によ る北九州市のイメージ アップ）	7	すこやかな共 生社会構築事 業	北九州国際交流協会に 「（仮）多文化地域コー ディネーター」を配置 し、日本人・外国人の双 方に訪問・ヒアリングす ることで、地域や外国人 市民が抱えるニーズ等を 把握し、顔の見える関係 性づくりにつなげる。また、外国人相談窓口の運 営などを通じて、すこや かな共生社会の構築を目 指す。	国際 政策 課	市民の「多 文化共生」 という言葉 の認知度 （行政評価 市民アン ケート：毎 年度）	R5	59.5%	R10年度 までの 目標： 63.0%	単年度 目標設 定なし		「暮らしや すい」と回 答した人の 割合（外国 人市民アン ケート：5 年毎）	R5	72.4%	R10年度 までの 目標： 80.0%	単年度 目標設 定なし		91,040
北九州市立大学における 地域や社会の未来を担う 人材育成の支援	8	次世代デジタ ル人材育成支 援事業	北九州市立大学新学部 （（仮称）情報イノベー ション学部）の整備にあ たって、整備費用の一部 を市が支援する。	総務 課	新学部棟建 設工事の進 捗	R7	0.0%	R9年度 までの 目標： 100.0%	単年度 目標設 定なし								1,116,000
Ⅲ「安らぐまち」の実現																	
外国人との共生社会の実 現に向けた環境整備	9	すこやかな共 生社会構築事 業	北九州国際交流協会に 「（仮）多文化地域コー ディネーター」を配置 し、日本人・外国人の双 方に訪問・ヒアリングす ることで、地域や外国人 市民が抱えるニーズ等を 把握し、顔の見える関係 性づくりにつなげる。また、外国人相談窓口の運 営などを通じて、すこや かな共生社会の構築を目 指す。	国際 政策 課	市民の「多 文化共生」 という言葉 の認知度 （行政評価 市民アン ケート：毎 年度）	R5	59.5%	R10年度 までの 目標： 63.0%	単年度 目標設 定なし		「暮らしや すい」と回 答した人の 割合（外国 人市民アン ケート：5 年毎）	R5	72.4%	R10年度 までの 目標： 80.0%	単年度 目標設 定なし		91,040

主な施策	事務 事業 番号	主要事務 事業名	事業概要	担 当 課	KPI（成果指標①）					KPI（成果指標②）					予算額 (千円)		
					指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値	指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値			
Ⅱ「彩りあるまち」の実現																	
DXによる市民サービス向上	1	証明書コンビニ交付サービス維持管理事業	マイナンバーカードを活用した証明書コンビニ交付サービスを実施する。	区政推進課	全有料証明書に占めるコンビニ交付の利用率の向上	R5	31.3%	R9年度までの目標：50.0%	単年度目標設定なし								54,052
Ⅲ「安らぐまち」の実現																	
防犯カメラや防犯灯の増設やAIなどの技術を取り入れた防犯対策の更なる推進	2	主要駅周辺への防犯カメラ設置事業	安全・安心な市民生活を確保し、犯罪に強い都市づくりを推進するため、主要駅周辺に防犯カメラの設置、運用を行う。	安全・安心推進課	刑法犯認知件数	R6	6,482件	—	R6年比減								44,920
	3	防犯灯設置事業	安心して生活できるまちづくりの推進の一環として、夜間における犯罪の発生を防止し公衆の通行の安全を図るため、LED防犯灯を設置する。	安全・安心推進課	刑法犯認知件数	R6	6,482件	—	R6年比減								65,647
暴力団対策の強化、市外発信による「安全・安心なまち」のイメージ定着	4	暴力追放推進・支援等事業	市民、企業、団体等が暴力団排除の認識を深め、暴力団排除活動に取り組むことができるよう広報啓発及び支援を行っていく。 また、福岡県警や（公財）福岡県暴力追放運動推進センター、北九州暴力追放推進会議、各区防犯協会等とも連携を図り、暴力排除並びに地域防犯活動を推進することで、安全・安心なまちづくりを進めていく。	安全・安心推進課	暴追対策に対して評価した市民の割合の増加（行政評価市民アンケート：毎年度）	R7	R7年度実績値	—	R7年度比増								7,847

主な施策	事務 事業 番号	主要事務 事業名	事業概要	担 当 課	KPI（成果指標①）					KPI（成果指標②）						予算額 (千円)	
					指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値		指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値		
	5	若者の犯罪行為への加担防止啓発事業	若者が「闇バイト」等の犯罪行為に加担することを防止するため、市内でウェブを閲覧する若者を対象としたターゲティング広告やホームページ等で広報啓発を行う。	安全・安心推進課	暴迫対策に対して評価した市民の割合の増加（行政評価市民アンケート：毎年度）	R7	R7年度実績値	—	R7年度比増								850
ソーシャル・キャピタル （地域における繋がり） の強化	6	地域総括補助金	地域が一体となった地域づくりを促進するため、市各部局が事業ごとに地域団体に交付していた補助金を一本化し、まちづくり協議会に交付する。 地域総括補助金が校区内の課題解決に向けた横断的な取組につながるよう、制度の目的や活用事例の周知を図る。	地域振興課	地域総括補助金を導入したまちづくり協議会数	H26	130団体	—	137	団体							267,959
	7	現場主導・課題即応型地域・人づくり事業	地域の特性や課題に即応できるよう、既存の補助メニューや地域の人材育成にかかる事業を集約し、区役所主導で柔軟に支援できる体制を構築する。	地域振興課	地域づくり活動への参加者の割合の増加（行政評価市民アンケート：毎年度）	H29	39.6%	—	50.0	%							52,540
	8	市民センター管理運営・整備事業	市民（サブ）センター136館の管理運営・整備を行い、市民センターを拠点とした地域づくりを推進する。	地域振興課	若者・現役世代の利用率の増加	R6	20.4%	—	R6年度比増								1,703,000

主な施策	事務 事業 番号	主要事務 事業名	事業概要	担 当 課	KPI（成果指標①）					KPI（成果指標②）						予算額 (千円)	
					指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値		指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値		
地域活動の抜本的な見直しによる活発化	9	次の10年・地域づくり先行モデルプロジェクト	次の10年を見据えた地域コミュニティの形を先導するモデル地区を選定し、事務負担の見える化・最適化や、特性を活かした多世代協働のモデル事業を実施する。	地域振興課	モデル地域の地域課題に応じて検討・設定	—	—	—	—								9,000
	10	地域のチカラつなぐ事業	市民同士の”互助”を促進するため、個々のスキルや空き時間を地域で役立てる「タイムバンク」の社会実装に向けた調査研究を行う。 また、回覧板のデジタル化やLINE活用により地域情報のスムーズな伝達と共有を図る。	地域振興課	デジタルプラットフォームの社会実装	—	—	R10年度までの目標：社会実装	単年度目標設定なし								14,000

主な施策	事務 事業 番号	主要事務 事業名	事業概要	担当 課	KPI（成果指標①）					KPI（成果指標②）					予算額 (千円)	
					指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値	指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値		
Ⅲ「安らぐまち」の実現																
公共施設マネジメントの 推進	1	公共施設マネ ジメント推進 事業	公共施設を取り巻く様々 な環境の変化を踏まえ、 総量抑制のみにとられ るのではなく、公民連携 による建替えや運営改善 などにより「施設の価値 を最大限発揮させ、新た な価値を創出する」な ど、公共施設の持続可能 な運営および最適化に向 けた取組を推進する。	市政 変革 推進 室	新たな公共 施設マネジ メント計画 を策定し、 公共施設の 持続可能な 運営および 最適化に向 けた、個別 施設ごとの 事業目標設 定	—	—	—	R8設定 予定							4,700

主な施策	事務 事業 番号	主要事務 事業名	事業概要	担 当 課	KPI（成果指標①）					KPI（成果指標②）					予算額 (千円)		
					指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値	指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値			
Ⅰ「稼げるまち」の実現																	
介護離職の減少に向けた 介護サービスの充実	1	先進的介護 「北九州モデル」推進事業	介護現場の働き方改革 を推進するため、ICT・介 護ロボット等を活用した 業務改善手法「北九州モ デル」の市内介護施設へ の普及を図り、先進的介 護の実効性を高める。	先進 的介 護シ ステム推進室	介護ロボッ ト等導入施 設数	R4	117件	—	200	件							21,370
多様な人材（高年齢者、 外国人）の活用による人 材確保	2	外国人介護人 材育成支援	外国人介護人材の介護 福祉士の資格取得を支援 し、介護の質の向上を図 るとともに、介護分野へ の外国人の就労・定着を 促進する。	介護保 険課	介護福祉士 合格率	—	—	—	40.0	%							2,300
市内企業における「健康 経営」の意識の拡大	3	働く世代の健 康づくり推進 事業（地域・ 職域連携の推 進）	就労世代の健康づくり や事業所における健康経 営を推進するため、「地 域保健」と「職域保健」 を推進する団体で設置し た会議において、市域の 健康課題やそれぞれの取 組を共有し、効果的・効 率的な官民協働の取組を 進める。	健康推 進課	健康経営を 推進する市 内企業等の 増加	R5	1,464 事業所	R5～R9年 度までの 目標： 2,300 事業所	2,000 (R5～ R8まで の累計)	事業 所							6,000
Ⅱ「彩りあるまち」の実現																	
彩りある文化・芸術によ るにぎわいの推進	4	障害者文化芸 術活動等推進 事業	障害者の文化芸術活動 の振興を図るため、作品 展等障害者の文化芸術活 動の発表の場を設けると ともに、障害者の創意意 欲を助長するための必要 な支援を行う。 また、とかく家に閉じ こもりがちでサービスを 受ける立場になりがちな 障害者が、地域社会へ一 歩踏み出し、社会の一員 として自立するためのさ まざまな支援事業を行 う。	障害 福祉企 画課	障害者芸術 祭への作品 出展数	R5	268点	—	290	点	障害者芸術 祭来場者数	R5	1,200人	—	1,200	人	8,355

主な施策	事務 事業 番号	主要事務 事業名	事業概要	担 当 課	KPI（成果指標①）					KPI（成果指標②）					予算額 (千円)		
					指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値		指標名	基準 年度	基準値	中期 目標		R8目標値	
スポーツによるにぎわい づくり	5	障害者スポー ツ振興事業	スポーツを通じて障害 のある人の体力の維持・ 向上や、機能回復等を図 るとともに、社会参加を 促進するため、市内の障 害者スポーツ大会開催、 障害者のためのスポーツ 教室や水泳教室の開催に 必要な支援を行う。	障 害 福 祉 企 画 課	障害者ス ポーツ教室 参加者数	R5	1,033人	—	1,100	人	障害者ス ポーツ教室 新規参加者 数	R5	233人	—	250	人	53,791
Ⅲ「安らぐまち」の実現																	
人権文化のまちづくり	6	市民への人権 啓発の推進	「人権文化のまちづく り」の実現に向けて、 様々な手法を活用し、幅 広く市民への人権啓発を 推進する。	人 権 文 化 推 進 課	「人権尊重 意識の5～6 年前との比 較で高まっ ている」と 回答した割 合（人権問 題に関する 市民意識調 査:5年毎）	R7	R8.3月 頃設定 予定	R12年度 までの 目標： R8.3月頃 設定予定	単年度 目標設 定なし								73,961
地域包括ケアシステムの 深化・推進	7	生活支援体制 整備事業	地域福祉活動の基盤を 整備するため、地域支援 コーディネーターを各区 に配置することなどによ り、住民主体による地域 の支え合い活動の計画づ くりを支援する。 地域特有の課題と資源 を踏まえ、助け合い活 動、買い物支援、高齢者 サロン等の新たな社会 サービスの創出を図る。	地 域 福 祉 推 進 課	小地域福祉 活動計画の 策定校(地) 区数	R4	95箇所	—	155	箇所							110,568
	8	地域包括支援 センターの運 営	地域包括ケアシステム の構築を進めるため、総 合相談や権利擁護、包括 的支援、介護予防ケアマ ネジメント等の機能を担 う、市内24の地域包括支 援センターと、7の統括支 援センターを設置、運営 する。	地 域 福 祉 推 進 課	地域包括支 援センター の認知度 （北九州市 高齢者等実 態調査：3 年毎）	R4	47.1%	—	R4年度 比増加								669,222

主な施策	事務 事業 番号	主要事務 事業名	事業概要	担 当 課	KPI（成果指標①）					KPI（成果指標②）					予算額 (千円)		
					指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値		指標名	基準 年度	基準値	中期 目標		R8目標値	
	9	地域リハビリ テーション支 援体制推進事 業	高齢者や障害のある 人、その家族が住み慣れ たところでその人らしく いきいきとした生活がで きるよう、地域リハビリ テーション支援拠点を設 置するとともに、医療機 関や介護サービス事業所 等の協力を得て、身近な 地域でリハビリテーショ ンに関する相談や支援が 受けられる体制を構築す る。	地域 リハ ビリ テー ション 推 進 課	支援セン ターへの相 談件数	R5	403件	R8年度 までの 目標： 600件	600	件	地域ケア個 別会議や高 齢者サロン 等の地域活 動の回数	R4	247回	R8年度 までの 目標： 600回	600	回	39,000
	10	介護実習・普 及センター (テクノケア 北九州)運営 事業関連	福祉用具及び介護テク ノロジー機器の展示、専 門相談支援、情報発信を 行うとともに、市民・支 援者に対する介護実習や 研修を実施する。	地域 リハ ビリ テー ション 推 進 課	利用者満足 度（指定管 理者による 利用者アン ケート：毎 年度）	R5	99.0%	—	100.0	%							66,508
	11	「テクノケ ア北九州」介 護テクノロ ジー普及・啓 発促進事業	「テクノケア北九州」 を拠点に、大学・企業・ 行政等、官民連携のも と、テクノロジーを活用 した在宅生活モデル実証 (モニタリング)を行 い、テクノロジーを通じ た新しい在宅生活のあり 方を提案するとともに、 地域における介護テク ノロジーの理解促進と利用 拡大を図る。	地域 リハ ビリ テー ション 推 進 課	介護テクノ ロジーに関 する市民・ 支援者の認 知度（高齢 者等実態調 査：3年 毎）	—	—	R10年度 までの 目標： 50.0%	50.0	%							17,000
	12	認知症にやさ しいまちづく り事業	認知症の人やその家族 が住み慣れた地域で安心 して暮らせるまちづくり を推進する。	認知 症支 援・ 介護 予防 課	認知症と聞 いて、家族 に迷惑をかけ そうで心配である人 の割合（北 九州市高齢 者等実態調 査：3年 毎）	R4	53.9%	—	R4年度 比減少		認知症に なっても自 宅で生活を 続けられる か心配であ る人の割合 （北九州市 高齢者等実 態調査：3 年毎）	R4	42.2%	—	R4年度 比減少		59,711

主な施策	事務 事業 番号	主要事務 事業名	事業概要	担 当 課	KPI（成果指標①）					KPI（成果指標②）						予算額 (千円)	
					指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値		指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値		
	13	在宅医療の普及促進	患者の希望に沿った在宅医療サービスの提供がなされるよう、在宅医療の環境整備を推進する。	地域医療課	在宅療養支援病院・診療所数	R5	191か所	R8年度までの目標：R5年度比増	R5年度比増								101,000
支え合いのネットワークづくり（地域共生のまちづくり）	14	包括的な支援体制の構築	単身高齢者などの支援を必要としている人が社会的に孤立しないよう、住民、企業、行政等の地域全体で見守りを行う「いのちをつなぐネットワーク」を推進する。	地域福祉推進課	いのちをつなぐネットワーク協力会員の団体数の増加	R7	R7年度実績値	—	前年度比増								49,923
	15	福祉ボランティア活動の推進	北九州市社会福祉協議会が行うボランティアの活動推進事業に対する補助事業。 ボランティア・市民活動センターにおいて、目的や対象に応じた講座の実施や、ボランティアコーディネート、ボランティア団体の活動支援、関係機関との連携による情報収集・発信等を行う。	地域福祉推進課	ボランティアコーディネートの件数	R4	4,386件	—	5,100件								47,605
	16	認知症にやさしいまちづくり事業	認知症の人やその家族が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりを推進する。	認知症支援・介護予防課	認知症と聞いて、家族に迷惑をかけそうで心配である人の割合（北九州市高齢者等実態調査：3年毎）	R4	53.9%	—	R4年度比減少		認知症になっても自宅で生活が続けられるか心配である人の割合（北九州市高齢者等実態調査：3年毎）	R4	42.2%	—	R4年度比減少		59,711

主な施策	事務 事業 番号	主要事務 事業名	事業概要	担当 課	KPI（成果指標①）					KPI（成果指標②）						予算額 （千円）	
					指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値		指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値		
介護サービスの質・生産性の向上	17	介護シェアリング都市推進事業	北九州市が高齢化大都市のフロンランナーとして、介護業界に携わる関係人口を増やし、あらゆるリソースを動員して介護サービスを支える仕組みを構築する「介護シェアリング都市」の実現を目指し、介護人材確保に繋がる様々な事業を展開する。	介護保険課	スケッター参加事業所数	—	—	—	30	事業所							18,200
	18	先進的介護「北九州モデル」推進事業	介護現場の働き方改革を推進するため、ICT・介護ロボット等を活用した業務改善手法「北九州モデル」の市内介護施設への普及を図り、先進的介護の実効性を高める。	先進的介護システム推進室	介護ロボット等導入施設数	R4	117件	—	200	件							21,370

主な施策	事務 事業 番号	主要事務 事業名	事業概要	担 当 課	KPI（成果指標①）					KPI（成果指標②）						予算額 (千円)	
					指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値		指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値		
医療提供体制の維持・確保、在宅医療の普及・促進	19	救急医療体制の維持・確保	夜間や休日における救急医療体制を維持・確保する。	地域医療課 夜間・休日急患センター 第2夜間・休日急患センター	救急医療体制の維持	—	—	—	—								1,228,407
	20	総合周産期母子医療センター、小児救急・小児総合医療センターの運営	【総合周産期母子医療センター（市立医療センター内）】 ・出生前から出産後まで母子に対する専門的な医療を24時間体制で提供する。 【小児救急・小児総合医療センター（市立八幡病院に併設）】 ・1次（初療）から3次（重篤）までの救急医療を24時間体制で提供する。	地域医療課	医療体制の確保・充実	—	—	—	—								1,229,017
	21	在宅医療の普及促進	患者の希望に沿った在宅医療サービスの提供がなされるよう、地域の専門職の参画促進や訪問看護の充実強化等、在宅医療の環境整備を推進する。	地域医療課	在宅療養支援病院・診療所数	R5	191か所	R8年度までの目標：R5年度比増	R5年度比増								101,000
	22	精神保健夜間休日救急体制の整備・確保	夜間・休日の精神医療相談窓口を設置し、精神障害のある人及び家族等からの相談に対応する。 福岡県と政令市（福岡市、北九州市）が共同で夜間・休日の精神科緊急・救急医療体制（24時間365日）を整備する。	精神保健・地域移行推進課	精神障害のある人及び家族等からの相談に対する問題解決率（適切な情報提供及び助言）95%以上	R5	94.0%	—	95.0%								34,312

主な施策	事務 事業 番号	主要事務 事業名	事業概要	担当 課	KPI（成果指標①）					KPI（成果指標②）						予算額 (千円)	
					指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値		指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値		
健康寿命の延伸・健康格 差の縮小	23	働く世代の健康づくり推進事業（地域・職域連携の推進）	就労世代の健康づくりや事業所における健康経営を推進するため、「地域保健」と「職域保健」を推進する団体で設置した会議において、市域の健康課題やそれぞれの取組を共有し、効果的・効率的な官民協働の取組を進める。	健康推進課	健康経営を推進する市内企業等の増加	R5	1,464事業所	R5～R9年度までの目標：2,300事業所	2,000 (R5～R8までの累計)	事業所							6,000
	24	各種健診（検診）の実施	生活習慣病の予防等のため、特定健診やがん検診等の実施、及び各種健診（検診）の受診促進を行う。	健康推進課	メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少（実績11月頃公表）	R4	34.9%	R11年度までの目標：32.8%	33.9%	%	がんの年齢調整死亡率（10万人あたり）の減少	R2	男性：444.7 女性：205.2	R2年度比減少 ※国が国勢調査年毎に算出するR7年齢調整死亡率（R10公表予定）を基に本市目標値を算出	単年度目標設定なし		1,289,218
	25	オーラルヘルスの推進	歯科疾患の予防等のため、生涯を通じた歯科健（検）診等を実施する。	健康推進課	3歳児でむし歯のない者の割合の増加	R4	87.7%	R9年度までの目標：92.0%	91.2%	%	かかりつけ歯科医がいる者の割合の増加（40～64歳）	R4	69.0%	R10年度までの目標：74.0%	単年度目標設定なし		103,709

主な施策	事務 事業 番号	主要事務 事業名	事業概要	担当 課	KPI（成果指標①）					KPI（成果指標②）						予算額 (千円)	
					指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値		指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値		
高齢者の社会参加の推進	26	地域介護予防活動実践者支援事業	介護予防ツール（きたきゅう体操・ひまわり太極拳・公園健康遊具）の普及や介護予防リーダーの養成・支援を通して、高齢者や障害者等が身近な地域で年代を超えて取り組める介護予防活動の地域展開を図る。	認知支援・介護予防課	通いの場に参加した人の割合（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査：3年毎）	R4	19.3%	—	23.0 %								26,691
	27	高齢者地域人材育成の推進	年長者研修大学校（周望学舎・穴生学舎）及び北九州穴生ドーム、並びに生涯現役夢追塾の運営や、高齢者の社会参加を促進する情報の総合的な収集・提供、マッチング、相談対応を行う「いきがい活動ステーション」の運営などを通して、地域で活躍する高齢者人材を育む。 あわせて、既存事業のあり方を見直し、地域活動・就業・生涯学習の推進など横断的な生涯現役応援の仕組みづくりに着手する。	長寿社会対策課	地域活動について、「行っている」と回答した人の割合の増加（年長大利用者アンケート：毎年度）	R5	42.0%	R8年度までの目標：46.0%	46.0 %								227,967

主な施策	事務 事業 番号	主要事務 事業名	事業概要	担当 課	KPI（成果指標①）					KPI（成果指標②）					予算額 (千円)		
					指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値		指標名	基準 年度	基準値	中期 目標		R8目標値	
障害のある人の社会参加 の推進	28	障害者文化芸術活動等推進事業	障害者の文化芸術活動の振興を図るため、作品展等障害者の文化芸術活動の発表の場を設けるとともに、障害者の創意意欲を助長するための必要な支援を行う。 また、とかく家に閉じこもりがちでサービスを受ける立場になりがちな障害者が、地域社会へ一歩踏み出し、社会の一員として自立するためのさまざまな支援事業を行う。	障害福祉企画課	障害者芸術祭への作品出展数	R5	268点	—	290	点	障害者芸術祭来場者数	R5	1,200人	—	1,200	人	8,355
	29	障害者スポーツ振興事業	スポーツを通じて障害のある人の体力の維持・向上や、機能回復等を図るとともに、社会参加を促進するため、市内の障害者スポーツ大会開催、障害者のためのスポーツ教室や水泳教室の開催に必要な支援を行う。	障害福祉企画課	障害者スポーツ教室参加者数	R5	1,033人	—	1,100	人	障害者スポーツ教室新規参加者数	R5	233人	—	250	人	53,791

主な施策	事務 事業 番号	主要事務 事業名	事業概要	担 当 課	KPI（成果指標①）					KPI（成果指標②）						予算額 (千円)	
					指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値	指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値			
Ⅰ「稼げるまち」の実現																	
働く親への子育て支援強化（保育サービス、放課後児童クラブ、病児保育）	1	病児保育事業	多様な保育ニーズに対応するため、家庭での保育が困難な病氣中・病氣の回復期にある児童を一時的に預かる病児保育事業を実施する。	こども施設企画課	事業を利用する児童数の維持	R7	R7年度実績値	—	R7年度水準維持								331,440
	2	特別保育事業補助	多様な保育ニーズに対応するため、民間保育所の延長保育、一時保育、障害児保育等の特別保育事業を実施する。	こども施設企画課	延長保育を実施する施設割合の維持	R7	R7年度実績値	—	R7年度水準維持		一時保育を実施する施設割合の維持	R7	R7年度実績値	—	R7年度水準維持		524,196
	3	第2子以降の保育料完全無償化	多子世帯の子育てを支援するため、第2子以降の保育料の完全無償化を実施する。	こども施設企画課	子育ての悩みのうち「子育ての経済的な負担が大きい」割合の減少（子ども家庭局実施の市民アンケート：毎年度）	R5	26.2%	R10年度までの目標：R5年度比減少	単年度目標設定なし								1,016,357
	4	子育て短期支援事業	保護者の疾病その他の理由により家庭において児童を養育することが一時的に困難になった場合等に、児童養護施設その他の保護を適切に行うことができる施設等において、一定期間、養育・保護を行う。	子育て支援課	利用実績1,000人日／年の維持	R5	1,000人日／年	—	1,000人日／年								22,560
	5	放課後児童クラブの長期休暇等利用者支援事業	長期休暇期間中等における保護者の負担を軽減するため、午前8時以前からの受入れを促進するとともに、期間中における昼食提供の支援を全市に拡大する。	こども若者成育課	放課後児童クラブに対する満足度の向上（開所日、開所時間）（子ども家庭局実施の市民アンケート：毎年度）	R6	69.0%	R11年度までの目標：R6年度比向上	単年度目標設定なし								18,310

主な施策	事務 事業 番号	主要事務 事業名	事業概要	担 当 課	KPI（成果指標①）					KPI（成果指標②）						予算額 (千円)	
					指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値		指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値		
働く親への子育て支援強化（シン・子育てファミリー・サポート事業）	6	シン・子育てファミリー・サポート事業	提供会員（支援してくださる方）の報酬額を市で負担し、依頼会員（支援してほしい方）の負担を軽減する。 また、引き続き協力団体に預かり場所を提供してもらい、預かり場所での活動を支援する。 タクシー送迎支援については、令和6年度のモデル実施から令和7年度より送迎支援を市内全域へ拡大する。 さらに、育休復帰後1年目の会員について、利用料金の無償化等、利用しやすい仕組みを構築する。	子育て支援課	支援活動件数の増加	R7	R7年度実績値	—	R7年度比増								41,496
Ⅱ「彩りあるまち」の実現																	
こどもまんなかcityの推進による都市イメージの向上	7	こどもまんなかcity推進事業	こどもの視点・考えを大切に、こどもを社会を構成する存在として尊重することができる「こどもまんなかcity」を目指し、社会全体でこどもや子育てを応援する気運を醸成するための事業を実施する。	総務企画課	「子育てしやすいまちだと思う」子育て当事者の割合の増加（子ども家庭局実施の市民アンケート：毎年度）	R6	88.9%	R11年度までの目標：R6年度比増加	単年度目標設定なし								5,057
	8	子育てに関する情報提供の充実	子育て中の人や、子どもの成長に応じた情報をタイムリーに、かつ手軽に入手できるよう、情報誌「北九州市こそだて情報」を発行するなど、こども・子育てに関する情報の提供を行い、北九州市の子育て環境の魅力をPRする。	総務企画課	「北九州市こそだて情報」の認知度（子ども家庭局実施の市民アンケート：毎年度）	—	—	—	65.0%		「子育てしやすいまちだと思う」就学前児童保護者の割合の増加（子ども家庭局実施の市民アンケート：毎年度）	R6	91.1%	R11年度までの目標：R6年度比増加	単年度目標設定なし		5,155
	9	二十歳の記念式典経費	20歳に達した青年を祝い励ますとともに、大人としての自覚を促すため、市民・民間・行政が一体となって、式典を実施する。	こども若者成育課	式典参加者の満足度の向上（参加者アンケート：毎年度）	R7	97.0%	—	R7年度比向上								17,000

主な施策	事務 事業 番号	主要事務 事業名	事業概要	担当 課	KPI（成果指標①）					KPI（成果指標②）					予算額 (千円)		
					指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値	指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値			
Ⅲ「安らぐまち」の実現																	
妊娠～出産～子育てまで 一貫した支援（子どもを 生み育てたい環境づく り）	10	母子健康診査	母子保健法に基づき、 妊婦や乳幼児の疾病または異常の早期発見及び疾病や障害の予防、悪化防止を図り、健康を保持増進させるため、妊婦、乳幼児の健康診査等を実施する。	子育て支援課	妊婦健診受診率	R7	R7年度実績値	—	R7年度水準維持		3歳児健診受診率	R7	R7年度実績値	—	R7年度水準維持		747,387
	11	育ちのはじまりサポート事業	妊娠・出産・産後の時期を健やかに過ごし、母子の健康が確保されるように、産後ケアや産婦健康診査等、妊娠期、出産期、産後期の切れ目ない支援体制を構築するとともに、関係機関との連携を促進する。 また、妊産婦の不安や負担軽減を図るため、市内産科・小児科等医療機関を連携し、新たに「1か月児健康診査」を開始するとともに、新生児期に行う検査への助成の拡大を図ることによって、安心して安全に出産及び産後を過ごすことができるよう支援体制を構築する。	子育て支援課	産後ケア利用延べ回数の維持	R7	R7年度実績値	—	R7年度水準維持		1か月健診および新生児マスキリーニング検査の受診率（検）100%	R7	R7年度実績値	—	100.0%		164,865
	12	一時預かり事業	私立幼稚園等の教育時間の前後や長期休業日等に行う預かり保育に要する費用を助成する。 あわせて、保育を必要とする2歳児の定期的な受け入れに要する費用を助成する。	こども施設企画課	事業（幼稚園型）を利用する児童数の維持	R7	R7年度実績値	—	R7年度水準維持								211,000
	13	のびのび赤ちゃん訪問事業	生後4か月までの乳児がいるすべての家庭を訪問し、子育て情報の提供を行うとともに、支援が必要な家庭に対して適切な指導や支援、サービスの提供につなぐ。	子育て支援課	生後4か月までの乳児家庭全戸訪問の実施率の維持	R7	R7年度実績値	—	R7年度水準維持								47,396

主な施策	事務 事業 番号	主要事務 事業名	事業概要	担 当 課	KPI（成果指標①）					KPI（成果指標②）						予算額 (千円)
					指標名	基 準 年 度	基準値	中期 目標	R8目標値		指標名	基 準 年 度	基準値	中期 目標	R8目標値	
	14	乳児等通園支援事業	全てのこどもの育ちを 応援するとともに、全ての 子育て家庭に対して、 多様な働き方やライフス タイルにかかわらない形 での支援を強化するた め、保護者の就労有無を 問わず利用できる「こども 誰でも通園制度」を実施 する。	こども 施設企 画課	事業を利用 するこども の増加	R7	R7年度 実績値	—	R7年度 比増加							57,594
幼児教育・保育の環境整備の推進	15	シン・子育て ファミリー・ サポート事業	提供会員（支援してく ださる方）の報酬額を市 で負担し、依頼会員（支 援してほしい方）の負担 を軽減する。 また、引き続き協力団 体に預かり場所を提供し てもらい、預かり場所 での活動を支援する。 タクシー送迎支援につ いては、令和6年度のモデル 実施から令和7年度より 送迎支援を市内全域へ拡大 する。 さらに、育休復帰後1年 目の会員について、利用 料金の無償化等、利用し やすい仕組みを構築する。	子育て 支援課	支援活動件 数の増加	R7	R7年度 実績値	—	R7年度 比増							41,496
	16	第2子以降の保 育料完全無償 化	多子世帯の子育てを支 援するため、第2子以降の 保育料の完全無償化を実施 する。	こども 施設企 画課	子育ての悩 みのうち 「子育ての 経済的な負 担が大きい」 と回答した 割合の減少 （子ども家庭 局実施の市民 アンケート： 毎年度）	R5	26.2%	R10年度 までの目標： R5年度比減少	単年度 目標設定なし							1,016,357
	17	保育人材育成・ 保育士等の確保	総合的に保育人材を育成 し、保育現場の業務負担 を軽減するため、子育て 支援員研修等を実施すると ともに、基準保育士数を 上回って雇用した保育士 や保育補助者を雇用する 費用を補助し、保育現場 の環境改善を図る。	こども 施設企 画課	保育補助者 雇上人数	R7	R7年度 実績値	—	30人							

[illegible]

主な施策	事務 事業 番号	主要事務 事業名	事業概要	担 当 課	KPI（成果指標①）					KPI（成果指標②）					予算額 (千円)	
					指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値	指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値		
Ⅰ「稼げるまち」の実現																
再生可能エネルギーや水 素拠点化を通じた市内企 業の成長と産業集積	1	水素拠点化推 進事業	市内で水素の利活用を 検討する事業者に対し て、検討フェーズごとの 支援を行い投資を促進す ることで水素拠点形成を 推進し、地元企業の脱炭 素化と国際競争力強化、 市内への新たな産業集積 につなげるとともに、市 内外へ水素拠点化の取組 を発信する。	グ リ ン 成 長 推 進 課	水素拠点の 形成	R5	0拠点	R12年度 までの 目標： 1拠点	国支援 制度へ の採択 1件							22,000
	2	市内事業者等 への再エネ 100%北九州モ デル普及推進 事業	令和5年4月に採択され た国の再エネ交付金を活 用し、市内事業者等が第 三者所有方式による太陽 光発電設備、高効率空調 設備の導入を行う場合の 費用の一部を補助する事 業を実施し、市域のCO2排 出量の削減につなげる。	再 生 可 能 エ ネ ル ギ ー 導 入 推 進 課	再生可能エ ネルギー導 入量の増加 (事務事業 番号2～4と の合同評 価)	R2	436,000kw	R12年度 までの 目標： 1,400, 000kw	703,371 kw						53,600	
	3	脱炭素社会の 実現に向けた 再エネ100%北 九州モデル推 進事業	令和4年4月に国から選 定された脱炭素先行地域 の取組として、第三者所 有方式による太陽光発電 設備、高効率空調設備を 公共施設等に導入し、市 域の脱炭素化を行う。 また、脱炭素先行地域 の共同提案者である北九 州連携中枢都市圏域の自 治体の脱炭素に向けた側 面的支援を行う。	再 生 可 能 エ ネ ル ギ ー 導 入 推 進 課	再生可能エ ネルギー導 入量の増加 (事務事業 番号2～4と の合同評 価)	R2	436,000kw	R12年度 までの 目標： 1,400, 000kw	703,371 kw						565,163	
	4	ペロブスカイ ト太陽電池導 入拡大事業	軽量・柔軟などの特徴 を有するペロブスカイト 太陽電池について、これ まで太陽電池が設置困難 であった場所（公共施設 等）に設置を進め、再エ ネの導入拡大を積極的に 推進する。	再 生 可 能 エ ネ ル ギ ー 導 入 推 進 課	再生可能エ ネルギー導 入量の増加 (事務事業 番号2～4と の合同評 価)	R2	436,000kw	R12年度 までの 目標： 1,400, 000kw	703,371 kW						79,500	

主な施策	事務 事業 番号	主要事務 事業名	事業概要	担 当 課	KPI（成果指標①）					KPI（成果指標②）					予算額 (千円)		
					指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値		指標名	基準 年度	基準値	中期 目標		R8目標値	
	5	北九州市風力 発電人材育成 事業	風力発電関連産業の総合拠点として、その機能を十分に発揮するには、人材の「育成」と「確保」が必要である。 このため、「北九州市洋上風力キャンプ」を実施し、市内外の学生等の関心を高め育成を図るとともに、「北九州市風力発電人材育成連絡会」を通じた産学官の連携による人材の育成・確保に引き続き積極的に取り組む。	環境 学習 課	洋上風力発電関連産業が就職候補先となり得ると回答した割合（大学生）（研修等に参加した学生へのアンケート結果：毎年度）	R6	81.0%	R12年度 までの 目標： 90.0%	単年度 目標設 定なし		洋上風力発電関連産業が就職候補先となり得ると回答した割合（高校生）（研修等に参加した学生へのアンケート結果：毎年度）	R6	51.7%	R12年度 までの 目標： 60.0%	単年度 目標設 定なし		19,350
北九州エコタウンを中心としたサーキュラーエコノミーの推進による企業の競争力強化と新たな環境産業の集積	6	環境未来ビジネス創出助成事業	新規性、独自性、実現性の高い環境技術の研究及びビジネス創出に要する費用の一部助成により、市内中小企業等に技術開発等の機会を提供し、事業化への支援を行う。	サー キュ ラー エコ ノ ミー 推進 課	サーキュラーエコノミー関連市内投資額（事務事業番号6～7との合同評価）	R4	10億円/ 年	R12年度 までの 目標： 30億円/ 年	単年度 目標設 定なし								42,000
	7	サーキュラーエコノミー基盤形成促進事業	本市の環境産業を世界経済の潮流であるサーキュラーエコノミー（循環経済）に対応させることで、関連企業の集積や新たな投資につなげるために、資源循環に取り組む企業や大学との連携による事業化検討、次世代型リサイクル技術実証等を行う。	サー キュ ラー エコ ノ ミー 推進 課	サーキュラーエコノミー関連市内投資額（事務事業番号6～7との合同評価）	R4	10億円/ 年	R12年度 までの 目標： 30億円/ 年	単年度 目標設 定なし								11,700
	8	サーキュラーエコノミー基盤構築事業	産業廃棄物の埋立量削減や排出抑制を目指すとともに、サーキュラーエコノミーへの移行に向けた基盤を構築するため、再生利用に資する処理施設の導入に加え、産業廃棄物の脱炭素化の取組等、動静脈企業の連携を支援する。	産業 廃棄 物対 策課	産業廃棄物の最終処分量の削減	H30	203,000t	R12年度 までの 目標： 185,000t	単年度 目標設 定なし								

主な施策	事務 事業 番号	主要事務 事業名	事業概要	担当 課	KPI（成果指標①）					KPI（成果指標②）						予算額 (千円)	
					指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値		指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値		
アジア・グリーン共創ハブの推進	9	アジア・グリーン共創ハブ推進事業	環境国際協力や環境国際ビジネスの結節点となる「アジア・グリーン共創ハブ」を目指すため、国内外の環境関連企業や国際機関等とビジネス面で接点を強化し、企業の技術・製品・サービスの輸出に加え、対日投資を含めた取組を展開する。	環境国際戦略課	環境国際ビジネス参入企業数及び案件額（H22年度からの累計）	R4	30社 約100億円	R12年度までの目標：50社程度 約500億円	単年度目標設定なし								34,300
Ⅱ「彩りあるまち」の実現																	
都市ブランドの確立（ポジティブな情報発信による北九州市のイメージアップ）	10	環境配慮型ライフスタイルへの転換に向けた広報啓発事業	市民に対し、自発的な環境配慮行動の実践に繋げ、環境配慮型ライフスタイルへの行動変容を促進するため、各人の行動実施をポイントにより見える化できる「ていたんポイント（市公式LINEと連携予定）」をプラットフォームとして活用し、環境局全体で連携して一元的に環境配慮行動の習慣（継続）化を図る仕掛けを展開する。	グリーン成長推進課	ていたんポイント利用者数（行動変容者数）	—	—	—	1,000人								10,000
ネイチャーポジティブの推進	11	生物多様性戦略推進事業	産学官民が連携した「北九州ネイチャーポジティブネットワーク」を活用したプロジェクトの推進や、ポータルサイト等を活用した市民・企業等への情報発信・普及啓発を通じて、北九州市生物多様性戦略の推進を図る。 また、自然環境の現状把握と保全活動の支援等に取り組み、生物多様性を大切にする価値観の形成を図る。	ネイチャーポジティブ推進課	生物多様性に関する市民の認知度（行政評価市民アンケート：毎年度）	R7	実績値	R12年度までの目標：60.0%	対前年度比増		生物多様性保全につながる活動への参加率（行政評価市民アンケート：毎年度）	R7	実績値	R12年度までの目標：50.0%	対前年度比増		36,075

主な施策	事務 事業 番号	主要事務 事業名	事業概要	担 当 課	KPI（成果指標①）					KPI（成果指標②）					予算額 (千円)		
					指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値	指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値			
Ⅲ「安らぐまち」の実現																	
持続可能な循環型社会の構築	12	エコ・アップデート推進事業	第2期北九州市循環型社会形成推進基本計画に掲げるリサイクル率の目標達成に向けて、市民に分別が十分に浸透していない廃食用油、プラスチックごみなどについて、回収拠点の増加や市民向けのPRなど、集中的にリサイクル策を強化する。	循環社会推進課	市民1人一日あたりの家庭ごみ量	R1	468g	R12年度までの目標：420g以下	単年度目標設定なし		一般廃棄物のリサイクル率の増加	R1	28.0%	R12年度までの目標：32.0%	単年度目標設定なし		21,500
	13	事業系ごみ対策強化事業	令和6年度に実施した事業系ごみの組成調査結果をもとに、業種に応じた啓発物を作成するなど、効果的なごみ削減・リサイクルの誘導を図るとともに、後を絶たない焼却工場への不適物の搬入や無許可疑いの業者による搬入などへの検査体制の強化を行う。	循環社会推進課	事業系ごみ量（市の施設で処理した量）の減少	R4	162,292t	R12年度までの目標：129,833t（基準値から20.0%減）	単年度目標設定なし		一般廃棄物のリサイクル率の増加	R1	28.0%	R12年度までの目標：32.0%	単年度目標設定なし		25,240
	14	ごみステーション対策グレードアップ事業	市民が「管理しやすいごみステーション」を目指し、民間の力も活用しながら、折り畳み式容器の普及促進、地域のごみステーション管理に対する支援の充実を図り、ごみステーション散乱防止対策に取り組む。	業務課	散乱ごみステーション数	R7	213件	R11年度までの目標：0件	160（R7調査比▲25.0%）	件							56,000

主な施策	事務 事業 番号	主要事務 事業名	事業概要	担 当 課	KPI（成果指標①）					KPI（成果指標②）					予算額 (千円)	
					指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値	指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値		
Ⅰ「稼げるまち」の実現																
産業用地の創出・確保	1	地域未来投資 促進法を活用 した産業用地 整備推進事業	製造業等の企業誘致を 推進するため、高速道路 インターチェンジや幹線 道路に近いなど、産業用 地として競争力が高い地 区について、地域未来投 資促進法の活用等による 民間開発を促進し、産業 用地の整備を推進する。	企業 誘致 課	地域未来投 資促進法を 活用した産 業用地創出 面積	～R7	0ha	R10年度 までの 目標： 20ha	単年度 目標設 定なし							4,300
スタートアップの創出・ 成長（社会課題解決に資 する企業の育成・支援）	2	企業変革・ス タートアッ プ・グロース サポート事業	市内スタートアップの 成長加速化を促進する 「成長支援プログラム」 と、スタートアップによ る行政課題解決や市内企 業との協業を促進する 「イノベーション支援プ ログラム」によって、ス タートアップに対し資金 支援・伴走支援を実施す る。 また、北九州市の様々 な課題とスタートアップ をマッチングし、解決す る北九州イノベーション ゲートを運用する。	スター トアッ プ推進課	支援先ス タートアッ プの新規雇 用人数（市 内）	—	—	—	10人							67,404
	3	スタートアッ プ起業家育成 サポート事業	学生を対象とした起業 家を育成する体験プログ ラムを実施し、北九州市 内でのスタートアップ創 出に取り組む。	スター トアッ プ推進課	起業に関心 を持った生 徒の割合	R5	60.0%	—	70.0%							4,000
	4	得意を活か す！シニアの 起業応援事業	シニアが有する経験・ スキル・人間力を起業に より地域に再投資するこ とを目的に、シニアを対 象とした起業塾を開催す る。	スター トアッ プ推進課	起業塾参加 者数	—	—	—	40人	シニアの起 業数	—	—	—	5社		3,000

主な施策	事務 事業 番号	主要事務 事業名	事業概要	担 当 課	KPI（成果指標①）					KPI（成果指標②）						予算額 (千円)	
					指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値		指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値		
	5	北九州テレ ワークセン ター管理運営 事業	創業支援の中核施設として、資金の乏しい創業期の企業に安価な小規模オフィスやコワーキングスペースを提供するとともに、創業相談や事業拡大支援、起業家や起業を目指す方の交流、各種セミナーなどを実施し、北九州市の創業シーンの活性化を目指す。	スタート アップ推 進課	施設入居率	R5	97.0%	—	95.0	%							102,180
	6	スタートアッ プ成長支援 ファンド事業	スタートアップの資金調達ニーズに対応するため、ファンドへの出資や、ファンドを運営するベンチャーキャピタル等と連携したハンズオン支援により、北九州市のスタートアップ等への成長支援を実施する。	スター トアッ プ推 進課	投資先ス タートアッ プの新規雇 用人数（市 内）	R7	0社	—	1	社							0
	7	スタートアッ プ公共調達フ ルコミット事 業	高度かつ独自の技術を有するスタートアップとの随意契約を可能とし事業費を確保することで、公共調達を一気通貫で支援し、北九州市がスタートアップの初期顧客となることにより、行政課題の解決や市民サービスの向上、スタートアップの成長を促進する。	スター トアッ プ推 進課	本事業を活 用した公表 調達件数	R7	0件	—	1	件							5,000

主な施策	事務 事業 番号	主要事務 事業名	事業概要	担 当 課	KPI（成果指標①）					KPI（成果指標②）					予算額 (千円)	
					指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値	指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値		
若者と企業とのマッチングによる人材確保	8	若者ワークプラザ北九州、U・Iターン応援プロジェクト運営事業	概ね40歳までの若年者及び就職氷河期世代の求職者を対象に、就業相談、各種就業関連情報の提供、セミナー、職場体験、職業紹介等の実施により、若年者の就業支援を実施する。 U・Iターン応援プロジェクトでは、市外からのU・Iターン希望者と市内企業とのマッチングを支援し、市外からの人材還流及び市内企業の人材不足解消を目指す。	雇用・産業人材政策課	就職決定者数（プラザ）	R5	935人	—	1,300人	就職決定者数（UI）	R5	234人	—	300人	118,339	
	9	学生の地元就職促進事業	大学生等対象のインターンシップ等のマッチング支援と、高校生や専門学校生対象の市内企業への就職活動に役立つ情報を発信するイベント等の支援を行い、就職活動前から市内外の学生と企業が出会う機会を広く提供することで、学生と企業のミスマッチによる早期離職を防ぎ、市内企業の人材確保と若者の市内定着・還流を目指す。	雇用・産業人材政策課	新卒学生の地元就職率	R4	35.7%	R10年度までの目標：40.0%	37.3%						20,000	
	10	北九州ゆめみらいワーク事業	地元企業や大学等の仕事内容や研究等について、職業体験や社会人、大学生等との交流を通じて、若者のキャリア形成を支援するとともに、将来の地元就職につなげる。	雇用・産業人材政策課	イベントの感想を「良かった」「大変良かった」と回答した出展者の割合（アンケート：毎年度）	R5	95.0%	R10年度までの目標：95.0%	95.0%	イベントの感想を「良かった」「大変良かった」と回答した来場者の割合（アンケート：毎年度）	R5	89.0%	R10年度までの目標：89.0%	89.0%	40,000	
	11	地域の人事部支援事業	働きたい人が主役のまちを目指し、求職者に対するキャリア支援から導入教育、長期インターン等の一気通貫によるマッチング支援や、コミュニティ形成の場の提供等により、人と仕事がめぐり会い、循環する仕組みを構築することで、人材の確保と定着を図る。	雇用・産業人材政策課	本事業活用企業の採用選考に進んだ学生数	—	—	—	30人						56,000	

主な施策	事務 事業 番号	主要事務 事業名	事業概要	担 当 課	KPI（成果指標①）					KPI（成果指標②）						予算額 (千円)	
					指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値		指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値		
女性のキャリア形成支援	12	みらいのわたし応援事業	就職を機とした若い女性の転出や価値観の多様化が進む中、様々な環境の女性やロールモデルとの交流、多様な働き方の学びなどの一体的支援を通じて、女性の自分らしい生き方・働き方の実現に向けた支援を図る。	雇用・産業人材政策課	ウーマンワークカフェ北九州就職決定者数	R5	624人	—	700人								9,000
女性が働き続けることができる就労環境の整備の支援	13	ウーマンワークカフェ北九州運営事業	国・県・市の3者が緊密に連携し、就職、キャリアアップ、創業、子育てとの両立など、女性の職業生活における活躍をワンストップで総合的に支援する「ウーマンワークカフェ北九州」を運営する。	雇用・産業人材政策課	ウーマンワークカフェ北九州就職決定者数	R5	624人	—	700人								31,316
多様な人材（高年齢者、外国人）の活用による人材確保	14	グローバル人材活躍促進事業	市内企業の円滑かつ適切な外国人材の受け入れを促進するために、機運醸成から就職後の定着支援までトータルに支援するとともに、海外大学等と連携した幅広い人材獲得チャネルの開拓を行う。	雇用・産業人材政策課	北九州地域の外国人労働者数	R5	9,183人	R11年度までの目標：14,080人	13,180人								25,550
	15	経験を力に変えるシニア活躍応援事業	シニアの希望職種就職と企業の即戦力確保を支援し、活力あるまちを目指す。求職者に対するキャリア分析やリスキリング、マッチング支援の強化に加え、企業への意識改革セミナーや国の助成金活用支援を通じて全方位的に支援する。	雇用・産業人材政策課	高年齢者就業支援センター就職決定者数	R5	1,096人	—	1,250人								20,000
	16	高年齢者就業支援センター運営事業	元気で働く意欲のある高年齢者が、豊かな経験や能力を生かし、生涯現役でいきいきと働けるように、就業相談やキャリアアカウンセリング、資格取得サポートを実施するとともに、シニア・ハローワークなど各種支援機関と連携してワンストップで就職支援を行う。	雇用・産業人材政策課	高年齢者就業支援センター就職決定者数	R5	1,096人	—	1,250人								30,547

主な施策	事務 事業 番号	主要事務 事業名	事業概要	担 当 課	KPI（成果指標①）					KPI（成果指標②）						予算額 (千円)	
					指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値		指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値		
バックアップ首都構想の 推進	17	北九州市産業 振興未来戦略 推進事業	「稼げるまち」の実現 に向けて、「北九州市産 業振興未来戦略」の実効 性を高めるため、「北九 州市成長戦略会議」にお けるKPI達成に向けた戦略 全体の進捗管理及び「官 民対話テーブル」におけ るリーディングプロジェ クトの推進を図る。	産業 政策 課	市内総生産 4兆円	R2	3.7 兆円	R15年度 までの 目標： 4.0兆円	単年度 目標設 定なし								3,000
	18	企業立地促進 補助金	産業の振興及び雇用の 創出を図るため、一定要 件を満たす投資等に対す るインセンティブとして 補助金を交付し、市外か らの企業誘致や市内企業 の工場等の新設・増設を 促進する。	企業 誘致 課	企業誘致に おける新規 雇用創出数	R元 ～R5	累計 4,335人	R6～R10 年度 までの 目標： 累計 5,100人	単年度 目標設 定なし								2,300,000
未来産業の推進（半導体 産業、次世代自動車産 業、宇宙産業）	19	「稼げるま ち」への原動 力～未来産業 推進事業～	「稼げるまち」の実現 に向け、北九州学術研究 都市を中心に、フィジカ ルAIや半導体、宇宙、次 世代自動車などの未来産 業について、市内外の大 学や企業等との連携を加 速し、研究開発や人材育 成、企業競争力の向上に 取り組み、先端企業の集 積や地域産業の高度化、 新ビジネスの創出を図 る。	未来 産業 推進 課	先進企業の 集積	R5	7件	R12年度 までの 目標： 20件	単年度 目標設 定なし								152,483

主な施策	事務 事業 番号	主要事務 事業名	事業概要	担 当 課	KPI（成果指標①）					KPI（成果指標②）						予算額 (千円)	
					指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値		指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値		
学術研究都市2.0戦略	20	「稼げるまち」への原動力～未来産業推進事業～	「稼げるまち」の実現に向け、北九州学術研究都市を中心に、フィジカルAIや半導体、宇宙、次世代自動車などの未来産業について、市内外の大学や企業等との連携を加速し、研究開発や人材育成、企業競争力の向上に取り組み、先端企業の集積や地域産業の高度化、新ビジネスの創出を図る。	未来産業推進課	先進企業の集積	R5	7件	R12年度までの目標：20件	単年度目標設定なし								152,483
	21	学術研究都市管理運営事業（指定管理）	民間等のノウハウを最大限に生かすことにより、利用者の多様なニーズに応え、市民サービスの向上を図り、多様で効果的な施設運営を図る。	未来産業推進課	産学連携施設の入居率	R5	64.1%	—	65.0	%							784,620
物流拠点化の推進	22	マルチモーダル促進支援事業	従来のトラックのみの輸送からフェリーや鉄道等、複数の輸送経路を活用したモーダルシフトに取り組む企業に対し、その実証経費を支援する。あわせて、マルチテナント型（先進的）物流施設を活用した「新しい運び方」のモデルプランを構築することで一層の集貨・創貨を図る。	企業誘致課	マルチテナント型物流施設の誘致件数（着工時点）	R7	2件	R7～R10年度までの目標：累計5件	1件								16,000
企業変革や企業規模拡大など地域中核企業の成長促進	23	「未来を担う地域中核企業」成長促進プロジェクト	将来の成長の糧となる新規事業創出など、新たなチャレンジに対して総合的・集中的支援を行うことにより、企業変革や企業規模拡大を図り、市内の「地域中核企業」の成長を促進する。	産業政策課	新規事業着手等企業成長に取り組む企業数	—	—	R10年度までの目標：15社	7社								25,000

主な施策	事務 事業 番号	主要事務 事業名	事業概要	担 当 課	KPI（成果指標①）					KPI（成果指標②）						予算額 (千円)	
					指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値		指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値		
市内企業における成長分野等への事業転換、商品・サービスの高付加価値化の推進（ロボット・DX・AIの活用など）	24	生産性向上、事業変革に向けたロボット・DX推進事業	市内中小企業におけるロボットの導入やDX推進による経営課題解決に向けて、ロボット・DX推進センター及びDX推進プラットフォームを中心とした切れ目ない伴走支援を実施することで、中小企業の事業変革や生産性向上を支援する。	中小企業振興課	事業変革実践企業数	R5	6社	R9年度までの目標：累計50社	40	社							157,400
	25	物価高騰に立ち向かう中小企業等に対する生産性向上支援助成金	物価高の影響により厳しい経営環境にある中小企業等が行う、生産性向上の取組（省エネ投資、効率化・高収益化・DX強化等）に要する費用の一部を助成する。	中小企業振興課	支援企業のうち、生産性向上に取り組む企業数	—	—	—	170	社							200,000
	26	中小企業販路拡大等支援事業	市内中小企業が自ら事業計画を策定し、北九州市中小企業支援センターの支援を受けながら取り組む販路拡大やデジタル化等の生産性向上に要する費用の一部を助成する。	中小企業振興課	売上向上・販路拡大に向け、事業効果があつた企業の割合	—	—	—	100.0	%							6,500
市内製造業（部品や素材などのサプライヤー）の事業構造転換の推進（「EVシフト」や「電炉化」などへの対応）	27	電炉化対応等生産性向上支援事業	製鉄業の電炉転換への対応や市内中小企業のデジタル化等による生産性向上を支援するため、専門家による訪問相談を行い、企業動向のヒアリングや関連施設の活用を支援する。	中小企業振興課	事業変革・生産性向上等支援企業数	—	—	—	30	社							8,300

主な施策	事務 事業 番号	主要事務 事業名	事業概要	担 当 課	KPI（成果指標①）					KPI（成果指標②）						予算額 （千円）	
					指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値		指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値		
中小企業の事業承継の推進（M&Aなど）	28	のれん引継ぎプロジェクト事業	後継者不在の個店等の小規模事業者の事業承継を支援するため、民間事業者が運営するマッチングサイトのプラットフォームを活用し、後継者不在の個店と後継ぎ希望者のマッチングを支援し、次世代の開業支援と、個店の存続・廃業防止を図る。	中小企業振興課	売り手事業者の掘り起こし件数（サイト掲載件数）	—	—	—	5件								3,600
	29	事業承継促進化助成事業	地域経済を支える市内中小企業がこれまで培ってきた技術や経営基盤を円滑に次世代へ承継し、企業の持続的な成長と発展につなげるため、事業承継に取り組む企業やサーチファンドを活用した後継者候補人材が負担する費用を助成する。	中小企業振興課	事業承継計画の策定企業数及びM&Aの完了企業数の合計	—	—	—	2社		後継ぎ候補人材(サーチャー)と後継者不在企業とのマッチング件数	—	—	—	2件		3,500
Ⅱ「彩りあるまち」の実現																	
大型商業施設・商店街の振興	30	北九州市くらし応援商品券（商店街プレミアム付商品券）発行支援事業	物価高騰の影響を受けている地域の消費を喚起し、地域経済の活性化を図るため、福岡県の助成制度を活用して商店街等が自主的に取り組むプレミアム付商品券の発行を支援する。	サービス産業政策課	消費喚起効果	—	—	—	2倍以上を維持								#N/A
	31	商店街テナントリーシング支援事業	小倉都心部等における大規模空き店舗を資産として位置づけ、エリアの価値を高めるため、官民連携して集客力や話題性のあるテナントを誘致し、商店街の活性化と経済の振興を図る。	サービス産業政策課	歩行者通行量（小倉都心部）	R5	138,800人	R10年度までの目標：156,300人	単年度目標設定なし								4,000
	32	大きなシャッターヒラクプロジェクト	商店街テナントリーシング実行委員会が推薦する話題性・集客力のあるテナントを誘致する際のインセンティブとして、出店テナントに対し改装費等の経費の一部を補助する。	サービス産業政策課	歩行者通行量（小倉都心部）	R5	138,800人	R10年度までの目標：156,300人	単年度目標設定なし								10,000

主な施策	事務 事業 番号	主要事務 事業名	事業概要	担 当 課	KPI（成果指標①）					KPI（成果指標②）						予算額 (千円)	
					指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値		指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値		
	33	魅力ある商店街づくり支援事業	市内商店街にある空き店舗の有効利用促進や、商店街等が行う新たな取組を支援することにより、持続可能で魅力ある商店街づくりを目指す。	サービス産業政策課	市内商店街の空き店舗率	R6	14.3%	R10年度までの目標：13.8%	14.0	%							21,000
	34	紫川エリア活性化支援事業	商業の振興とまちの活性化を図ることを目的として、小倉の中心市街地を流れる紫川河畔を拠点とし、都市の回遊性の向上及びナイトタイムエコノミー（夜間における経済活動）の創出に寄与するイベントを実施する事業者に対し補助金を交付する。	サービス産業政策課	観光消費額（北九州市観光動態調査：毎年）	R5	1,004億円	R10年度までの目標：1,800億円	単年度目標設定なし								12,780
	35	ナイトタイムエコノミー推進プロジェクト	ビジネス客・観光客といった来街者や市民によるナイトタイムエコノミー（消費拡大・滞在時間延長）を推進するため、イベント支援・新規出店支援など小倉都心部繁華街の魅力向上支援を行う。	サービス産業政策課	宿泊客数	R5	185.2万人	R10年度までの目標：260万人	単年度目標設定なし								7,500
	36	黒崎地区活性化支援事業	商業の振興とまちの活性化を図ることを目的として、黒崎地区の魅力向上、活性化につながるイベントをする事業者に対し補助金を交付する。	サービス産業政策課	観光消費額（北九州市観光動態調査：毎年）	R5	1,004億円	R10年度までの目標：1,800億円	単年度目標設定なし								10,000
	37	商店街あつまる・つながる拠点づくり支援事業	各地区の中心に位置する商店街の機能をさらに高めるため、市民や観光客が集い、新しい交流やアイデアが生まれることが期待できる拠点づくりを行う商店街を支援する。	サービス産業政策課	本事業を活用して開設した施設の年間利用者数	—	—	R10年度までの目標：のべ1万人	5,000	人							5,000

主な施策	事務 事業 番号	主要事務 事業名	事業概要	担当 課	KPI（成果指標①）					KPI（成果指標②）						予算額 （千円）	
					指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値		指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値		
都市ブランドの確立（ポジティブな情報発信による北九州市のイメージアップ）	38	地域の人事部支援事業	働きたい人が主役のまちを目指し、求職者に対するキャリア支援から導入教育、長期インターン等の一気通貫によるマッチング支援や、コミュニティ形成の場の提供等により、人と仕事がめぐり合い、循環する仕組みを構築することで、人材の確保と定着を図る。	雇用・産業人材政策課	本事業活用企業の採用選考に進んだ学生数	—	—	—	30	人							56,000

主な施策	事務 事業 番号	主要事務 事業名	事業概要	担当 課	KPI（成果指標①）					KPI（成果指標②）					予算額 (千円)	
					指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値	指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値		
Ⅱ「彩りあるまち」の実現																
彩りある文化・芸術によるにぎわいの推進	1	北九州国際音楽祭	地域の音楽文化の向上を図るため、国内外の一流のアーティストによる公演や小中学生の鑑賞教室など、多彩なプログラムの国際音楽祭を開催する。	文化企画課	北九州国際音楽祭の参加者の満足度維持（来場者アンケート：毎年度）	R4	99.0%	R11年度までの目標：毎年度90.0%以上	90.0	%以上						38,000
	2	芸術文化活性化事業（劇場・響ホール補助事業）	北九州芸術劇場や響ホールが持つ特性を活かし、多彩で良質な音楽や舞台芸術等を提供する。	文化企画課	自主事業の参加者の満足度維持（来場者アンケート：毎年度）	R4	芸術劇場92.9% 響ホール99.1%	R11年度までの目標：毎年度90.0%以上	90.0	%以上	文化のかおるまちと思う市民の割合の増加（行政評価市民アンケート：毎年度）	R4	28.5%	R11年度までの目標：40.0%	34.0	% 86,200
	3	芸術文化育成補助金	北九州市の文化水準の向上及び地域文化の振興に資することを目的として、積極的に文化活動を展開している文化団体等の事業に対して、助成を行う。	文化企画課	文化団体事業参加者数（文化芸術に触れた人数）の維持	R4	56,000人	R11年度までの目標：毎年度56,000人	56,000	人	文化芸術活動をした市民の割合の増加（行政評価市民アンケート：毎年度）	R4	16.9%	R11年度までの目標：30.0%	24.0	% 33,600
	4	「歌でつながる。歌で華やぐ。」うたのまち北九州市	歌を通じてあらゆる世代を結びつけるとともに、まちに華やかさや賑わいを生み、まち全体に彩りを広げていく、「うたのまち北九州市」の充実・強化に向けて、市民が主役となる音楽イベントや、歌を通じて一体感や交流を生む取組等を市内各所で展開し、取組の一層の広がりや定着を図る。	文化企画課	参加者の満足度（イベント参加者アンケート：毎年度）	—	—	—	80.0	%以上	文化芸術を身近に感じる市民の割合の増加（行政評価市民アンケート：毎年度）	R4	30.5%	R11年度までの目標：40.0%	34.0	% 13,000

主な施策	事務 事業 番号	主要事務 事業名	事業概要	担 当 課	KPI（成果指標①）					KPI（成果指標②）					予算額 (千円)	
					指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値	指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値		
	5	美術館企画展	多彩で魅力的な展覧会を開催し、本市の美術・文化の振興を推進し、彩りあるまちづくりに寄与する。	美術館普及課	美術館入館者数	R4	187,000人	—	190,000人							102,239
	6	博物館企画展・特別展充実事業	入館者の増加につながる、魅力ある大型特別展を開催する等、東田地区のさらなる賑わいを創出する。	自然史・歴史博物館普及課	博物館総入館者数	R5	431,278人	R9年度までの目標：470,000人	450,000人							63,785
	7	北九州市漫画ミュージアム普及事業	漫画文化の普及・振興を図り、北九州市及び漫画ミュージアムの魅力を国内外に発信するため、常設展示の充実、企画展やイベント等を開催する。	漫画ミュージアム事務局	漫画ミュージアム入館者数	R5	95,252人	—	100,000人	漫画ミュージアムの認知度（行政評価市民アンケート：毎年度）	—	—	—	50.0%		55,304
	8	北九州国際映画祭関連事業	北九州国際映画祭の開催を通じて、北九州市から世界に羽ばたいていった映画や映画人が北九州市に再び集い、市民との交流や映画をテーマにしたイベントを実施するとともに、映画人材の育成を促進する。	MICE・メディア芸術課	パブリシティ効果	R5	3億円	R9年度までの目標：3億円	2億円	来場者の満足度アンケートで「満足」「やや満足」と回答した人の割合（来場者満足度アンケート：毎年度）	R5	90.0%	R9年度までの目標：毎年度90.0%	90.0%		23,000
スポーツによるにぎわいづくり	9	大規模国際スポーツ大会等誘致関係事業	国際スポーツ大会等の誘致・開催支援を通して都市のブランド力を向上させ、さらなる大会誘致につなげるとともに、観光や地域資源等と組み合わせることで大会の付加価値向上に取り組む。	スポーツ振興課	スポーツを身近に感じる市民の割合（行政評価市民アンケート：毎年度）	R4	44.4%	R11年度までの目標：70.0%	54.0%	スポーツ実施率（行政評価市民アンケート：毎年度）	R4	56.6%	R11年度までの目標：70.0%	70.0%		25,000

主な施策	事務 事業 番号	主要事務 事業名	事業概要	担 当 課	KPI（成果指標①）					KPI（成果指標②）						予算額 (千円)	
					指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値		指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値		
プロスポーツチーム等との連携によるまちづくりの推進	10	ホームタウン 推進事業	北九州市をホームタウン・準ホームタウンとする、「ギラヴァンツ北九州」や「日本製鉄堺レイザーズ」「福岡ソフトバンクホークス」等の市民観戦事業や、体験教室の開催など、市民がスポーツに親しむきっかけ作りを実施する。	ス ポ ー ツ 振 興 課	スポーツを 身近に感じる市民の割合 （行政評価 市民アン ケート：毎 年度）	R4	44.4%	R11年度 までの 目標： 70.0%	70.0	%	スポーツ観 戦率 （行政評価 市民アン ケート：毎 年度）	R4	20.0%	R11年度 までの 目標： 40.0%	40.0	%	58,200
集客力のある大規模イベントの誘致	11	TGC北九州2026 開催事業	史上最大のファッションフェスタである「東京ガールズコレクション」とコラボレーションしたファッションイベントを本市で開催し、地方創生に向けた都市ブランドの向上と地域経済の活性化を図るとともに、同規模イベントの開催誘致の促進を行う。	MICE・メディア芸術課	大型イベントの開催件数	R5	4件	R10年度 までの 目標： 10件	7	件							35,000
	12	MICE・エンタメを活用した 集客促進事業	市外からの来訪者が大半を占めるコンサート等のエンターテインメントや海外からの来訪者が多い国際会議等を誘致することにより、交流人口の創出・拡大による経済の活性化を図る。 将来的には民間事業者による自走を目指し、コンサート開催地としての都市のイメージアップを目指す。	MICE・メディア芸術課	大型イベントの開催件数	R5	4件	R10年度 までの 目標： 10件	7	件							16,000

主な施策	事務 事業 番号	主要事務 事業名	事業概要	担当 課	KPI（成果指標①）					KPI（成果指標②）						予算額 (千円)	
					指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値		指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値		
若者が集うイベントの誘致	13	「ポップカルチャーのまち北九州」推進事業	北九州市の都心集客の拠点となるJR小倉駅新幹線口を中心に、漫画・アニメ・ゲーム等のポップカルチャーによる大型イベント等の開催を通じて、誘客やクリエイター産業の交流・育成を図るとともに、滞在日数の増加・インバウンド誘客を図り、「まち」への経済効果を高める。	MICE・メディア芸術課	大型イベントの開催件数	R5	4件	R10年度までの目標：10件	7件		大型協賛（300万円以上）企業数	—	—	R15年度までの目標：3件	3件		31,000
7区の特徴を生かした観光コンテンツの魅力向上（観光地、祭りなど）	14	日本新三大夜景都市ブランドを活用した夜型観光促進事業	北九州市は、令和6年に2回連続で「日本新三大夜景都市」全国1位に認定された。この偉業を活かしたプロモーションや夜景資源の開発を、市民を巻き込んで実施することで、本市の夜型観光を更に促進させ、宿泊者数の増加及び消費額拡大を図る。	インバウンド課	観光消費額（北九州市観光動態調査：毎年）	R6	980億円	R10年度までの目標：1,800億円	単年度目標設定なし								10,000
	15	門司港レトロリニューアル事業	門司港レトロ地区において、さらなる魅力向上施策を推進し、観光客誘致や観光消費額の増加を促進する。	門司港レトロ課	門司港地区の観光客数（地区別観光客数）	R6	238.4万人	—	310万人								416,524
	16	小倉城周辺歴史文化観光磨き上げ事業	長崎街道（シュガーロード）など、小倉城関連の歴史的・文化的資源の掘り起こしや、観光資源の磨き上げ・施設設備の老朽化対策等を図り、広域的な連携を含めた情報発信を実施する。	観光課	観光消費額（北九州市観光動態調査：毎年）	R6	980億円	R10年度までの目標：1,800億円	単年度目標設定なし								

主な施策	事務 事業 番号	主要事務 事業名	事業概要	担 当 課	KPI（成果指標①）					KPI（成果指標②）						予算額 (千円)	
					指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値		指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値		
多様な観光ニーズへの対応（ステイケーション、ロングステイ、サイクルツーリズム、トレッキング、富裕層向けサービスなど）	17	海外作品等誘致・支援事業	アジア諸国の映像作品の撮影を誘致することで、当該映像作品の公開国の人々に広くロケ地である北九州市を知ってもらい、北九州市の魅力を発信することで観光客（インバウンド）誘致につなげる。	MICE・メディア芸術課	海外映像作品撮影による直接経済効果	R6	13,814千円	—	10,000	千円							7,300
「食」の魅力を活かした周遊観光の推進	18	食による都市ブランディング強化事業	都市ブランドの強化と国内外からのさらなる観光客の誘致を図るため、地元食材を生かしたグルメ、職人の技、食文化を体験できるイベントを実施し、「すし」をはじめとする北九州市の多彩な食の魅力を広く発信する。	すしの都課	観光消費額（北九州市観光動態調査：毎年）	R6	980億円	R10年度までの目標：1,800億円	単年度目標設定なし								30,000
	19	「すしの都北九州市」ブランド発信事業	「すし」をフックとした魅力発信や地域経済の活性化を図るため、富山県等との広域連携により、「すしのゴールデンルート」を構築する。また、「すしの都」の機運を盛り上げるため、市民や飲食店等に向けた広報・啓発活動を行う。	すしの都課	観光消費額（北九州市観光動態調査：毎年）	R6	980億円	R10年度までの目標：1,800億円	単年度目標設定なし								24,000

主な施策	事務 事業 番号	主要事務 事業名	事業概要	担当 課	KPI（成果指標①）					KPI（成果指標②）						予算額 (千円)	
					指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値		指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値		
外国人観光客の誘客の推進	20	MICE誘致推進 強化事業	MICE開催を通じて海外から企業・大学などの主要な研究者等、次世代の人材を多く集め、北九州市の知名度向上を図るとともに、集まった人を市内へ送り出す地域経済の活性化に資する取組みを強化する。	MICE・メディア芸術課	経済波及効果	R5	114億円	R10年度までの目標：130億円	130	億円							82,700
	21	インバウンド 誘致促進事業	北九州空港・福岡空港に直行便のあるエリアを主なターゲットとして、観光プロモーション（情報発信）や受入環境の整備等を行い、外国人観光客の誘客促進を図る。	インバウンド課	外国人観光客数（北九州市観光動態調査：毎年）	R6	36.7万人	—	R7年度末 設定 予定		外国人観光消費額	—	—	—	R7年度末 設定 予定		109,900

主な施策	事務 事業 番号	主要事務 事業名	事業概要	担当 課	KPI（成果指標①）					KPI（成果指標②）					予算額 (千円)	
					指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値	指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値		
Ⅰ「稼げるまち」の実現																
道路ネットワークの整備	1	下関北九州道路整備促進事業	西日本地域の広域道路ネットワークを支える極めて重要な道路として、下関北九州道路の早期実現に向けた、調査及び都市計画にかかる手続等を行うとともに、国や関係機関に対して要望・提案活動を実施する。	都市交通政策課	早期実現のための要望活動を2県2市（福岡県、山口県、北九州市、下関市）経済界等で共同で実施した回数	R3	2回	—	2回以上							7,000
再生可能エネルギーや水素拠点化を通じた市内企業の成長と産業集積	2	住宅・建築物の脱炭素化推進関連事業	「2050年のゼロカーボンシティ」実現に向け、住宅・建築物の脱炭素化に関するメリット等について、市民や地元事業者へ認識向上・意識啓発等を行うことにより省エネ住宅・建築物の普及促進を図る。	住まい支援室	セミナー等の満足度（実施後アンケート：毎年度）	—	—	—	80.0%							3,000
Ⅱ「彩りあるまち」の実現																
人や企業から選ばれるまちとしての価値向上	3	「小倉・黒崎」エリアの価値向上事業	小倉・黒崎地区の将来像を広く周知し、官民で共有する。あわせて、まちの魅力を高める官民連携プロジェクトを実装・推進し、民間投資の呼び込みを通じて、エリアの価値向上を図る。	都市再生企画課	まちなかの居心地の良さを図る指標（安心感・寛容性・安らぎ感・期待感）	R6	(小倉・黒崎の平均点) 安心感 4.7点 寛容性 4.7点 安らぎ感4.0点 期待感 3.4点 (各8点満点)	—	4要素で8点満点中各6点以上	小倉・黒崎駅周辺1kmエリア内の民間建設投資額	—	—	—	R5～R8年度までの目標：合計600億円		73,460
	4	リビテーション推進事業	小倉北区京町三丁目14番地区において次世代仕様のオフィスビルの建設を行う事業者等に対して、整備費等の一部を補助する。	事業推進課	小倉・黒崎駅周辺1kmエリア内の民間建設投資額	—	—	—	R5～R8年度までの目標：合計600億円							220,500

主な施策	事務 事業 番号	主要事務 事業名	事業概要	担 当 課	KPI（成果指標①）					KPI（成果指標②）						予算額 (千円)
					指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値		指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値	
ウォーカブルなまちづくり、快適なまちなか歩行空間の整備	5	「小倉・黒崎」エリアの価値向上事業	小倉・黒崎地区の将来像を広く周知し、官民で共有する。あわせて、まちの魅力を高める官民連携プロジェクトを実装・推進し、民間投資の呼び込みを通じて、エリアの価値向上を図る。	都市再生企画課	まちなかの居心地の良さを図る指標（安心感・寛容性・安らぎ感・期待感）	R6	(小倉・黒崎の平均点) 安心感 4.7点 寛容性 4.7点 安らぎ感4.0点 期待感 3.4点 (各8点満点)	—	4要素で8点満点中各6点以上		小倉・黒崎駅周辺1kmエリア内の民間建設投資額	—	—	—	R5～R8年度までの目標：合計600億円	73,460
持続可能な公共交通ネットワークの再構築	6	未来につなぐ公共交通リ・デザイン事業	公共交通の利便性、持続可能性、生産性向上を目指すため、公共交通のDXやバリアフリー化等により、誰もが利用しやすい環境づくりに取り組むとともに、持続可能な公共交通ネットワークの再構築に向けた検討を実施する。	都市交通政策課	市内の公共交通人口カバー率（北九州市環境首都総合交通戦略：5年毎）	R3	86.0%	—	86.0%		公共交通に対する満足度（行政評価市民アンケート：毎年度）	R3	66.0%	—	70.0%	17,279
	7	みんなで創る！公共交通「北九州モデル」推進事業	シニアをはじめとする交通弱者など、誰もが安心して移動できる公共交通の維持・確保を目指し、多様なお困りごとを把握し、新たな移動手段の確保に向けた検討や実証に加え、あらゆる世代への利用促進や啓発活動を進めていく、官民連携による北九州モデル（第2弾）を推進する。	都市交通政策課	市内の公共交通人口カバー率（北九州市環境首都総合交通戦略：5年毎）	R3	86.0%	—	86.0%		公共交通に対する満足度（行政評価市民アンケート：毎年度）	R3	66.0%	—	70.0%	10,000
戦略的な定住・移住施策の推進	8	移住推進関連事業	北九州市への移住を推進するため、若者・子育て世帯をメインターゲットとして、情報発信、相談窓口、お試し暮らし、移住支援金や住宅取得等費用の支援等により、移住の検討段階に応じた切れ目のない支援を行う。	住まい支援室	移住支援金や住宅取得等費用の補助を利用した転入者数	R5	630人	—	560人							147,400

主な施策	事務 事業 番号	主要事務 事業名	事業概要	担 当 課	KPI（成果指標①）					KPI（成果指標②）					予算額 (千円)	
					指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値	指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値		
Ⅲ「安らぐまち」の実現																
持続可能な都市経営を目指したまちづくりの推進	9	まちなか居住 移転支援事業	持続可能な都市経営の実現に向け、災害から市民の生命・財産を守るとともに、まちなかの活力を維持増進するため、区域区分見直しによる市街化調整区域への編入区域等からまちなかへの移転支援を実施する。	都市 計画 課	土砂災害による危険からの回避	—	—	—	土砂災害による危険からの回避							21,185
	10	ミライの安心につなげる「住宅・建築物耐震化等安全推進事業」	市民の安全・安心な暮らしを促進するため、民間建築物について、耐震化や危険ブロック塀の除去、吹付アスベスト対策にかかる工事費等を支援するとともに、その普及啓発にかかる取組を行う。	建築 指導 課	住宅の耐震化率	R5	94.0%	R17年度までの目標：住宅の耐震化の完了（おおむね解消）	単年度目標設定なし							62,122
利活用を含めた空き家対策	11	空き家対策事業	相談対応のDX化を行うとともに、空き家バンクの対象を拡充するなど、空き家・空き地対策の3つの柱である「発生予防啓発・管理促進」「活用促進」「管理不全の解消」を官民連携で取り組み、総合的な対策を推進する。	空き 家 活 用 推 進 課	住宅・土地統計調査におけるその他空き家数（住宅・土地統計調査：5年毎）	R5	27,600戸	R12年度までの目標：27,600戸	単年度目標設定なし							166,500
郊外部など公共交通の不便地域における交通・生活サービスの確保	12	地域の生活交通を確保する「おでかけ交通支援事業」	公共交通空白地域における地域住民の生活交通を確保するため、おでかけ交通を運行するタクシー事業者や車両の小型化により路線を維持するバス事業者への運行支援等を実施する。	都市 交通 政策 課	市内の公共交通人口カバー率（北九州市環境首都総合交通戦略：5年毎）	R3	86.0%	—	86.0%	公共交通に対する満足度（行政評価市民アンケート：毎年度）	R3	66.0%	—	70.0%		216,000

主な施策	事務 事業 番号	主要事務 事業名	事業概要	担 当 課	KPI（成果指標①）					KPI（成果指標②）					予算額 (千円)		
					指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値		指標名	基準 年度	基準値	中期 目標		R8目標値	
Ⅰ「稼げるまち」の実現																	
道路ネットワークの整備	1	主要な道路の整備（恒見朽網線など）	主要な街路・道路事業を重点的かつ速やかに整備することで、市内の渋滞対策、物流ネットワークの強化、地域間の連携・交流促進を図る。	道路計画課	道路整備による所要時間短縮の合計値	—	—	R13年度までの目標：52.8分	13.8	分							1,547,900
	2	自動車専用道路ネットワークの整備	港湾・空港・鉄道ターミナルなど、拠点間を結ぶ交通・物流ネットワークの構築や地域間の連携・交流促進を図るため、環状放射型自動車専用道路ネットワークの整備を推進する。	道路計画課	枝光ランプ～戸畑ランプ間の所要時間短縮値	—	—	R15年度までの目標：25.5分	単年度目標設定なし								2,153,000
Ⅱ「彩りあるまち」の実現																	
官民連携によるまちづくりの推進	3	都市再生整備計画（公園）	官民が連携し、東田地区の公共空間の魅力向上を図るとともに、観光交流拠点の中核にふさわしい都市環境の形成を推進する。	公園管理課	東田地区来訪者の平均滞在時間（都市再生整備計画に係る調査・毎年度）	R1	1.2時間	R8年度までの目標：1.6時間	1.6	時間	東田地区の主要地点における歩行者通行量（都市再生整備計画に係る調査・毎年度）	R2	11,356人/日	R8年度までの目標：13,000人/日	13,000	人/日	48,000
「北九州の台所」旦過地区のまちづくり	4	旦過地区再整備事業	長年市民に親しまれている旦過市場の魅力向上と、市場に隣接する神嶽川の治水安全度の向上のため、河川事業と一体となった旦過地区の再整備を推進する。	神嶽川旦過地区整備室	特定消防区域（木造密集地）の解消	R1	特定消防区域（木造密集地）：5,278㎡	R12年度までの目標：解消率100.0%	解消率75.0	%	計画規模降雨（1/50年確率）に耐えうる河川整備の完了	R1	事業進捗率：0.0%	R13年度までの目標：事業進捗率100.0%	事業進捗率33.0	%	3,252,865
魅力ある住環境の整備	5	折尾地区総合整備事業	駅を中心とした道路改築工事を推進する。土地区画整理事業区域内における宅地や道路整備を推進する。	折尾総合整備事務所	進捗率	R5	89.0%	R13年度までの目標：100.0%	93.0	%							2,722,364

主な施策	事務 事業 番号	主要事務 事業名	事業概要	担 当 課	KPI（成果指標①）					KPI（成果指標②）					予算額 (千円)	
					指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値	指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値		
Ⅲ「安らぐまち」の実現																
浸水・治水対策のインフラ整備などの促進	6	主要河川の整備	近年、激甚化・頻発化する豪雨災害等の浸水被害を抑制するため、治水事業の根幹となる河川改修を実施する。	水環境課	浸水被害の低減（河川の護岸整備完了）	R5	2河川	R11年度までの目標：4河川	2	河川						1,074,200
	7	豪雨災害から市民を守る緊急対策事業	平成30年7月、令和7年8月豪雨により被害が発生した河川の改修や河川情報システムの強化等により、市民が安全・安心を感じるまちづくりを推進する。	水環境課	浸水被害の低減（河川の整備完了）	R7	4河川	R12年度までの目標：9河川	5	河川						508,800
通学路の安全対策の強化	8	通学路の安全対策	登下校中の児童が交通事故に巻き込まれず、安全に安心して通学できる環境を整えるため、教育委員会や学校関係者、警察と一体となって、さらなる通学路の安全対策を推進する。	道路計画課	子どもが関連した事故件数の減少	R7	R7年実績値	—	R7年比減少							1,511,200

主な施策	事務 事業 番号	主要事務 事業名	事業概要	担当 課	KPI（成果指標①）					KPI（成果指標②）						予算額 (千円)
					指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値	指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値		
Ⅰ「稼げるまち」の実現																
北九州空港の物流拠点化 と空港機能の強化	1	航空物流支援 事業	集貨ルートの確立や特 殊大型貨物(シー＆エア輸 送)の取込み、大型貨物定 期便の誘致・安定化、通 関機能の確立を目的とし て、トラック経費の支援 (空港と物流拠点施設 間)や航空会社への運航 支援を実施する。	空港 企画 課	航空貨物取 扱量	R5	1.2万 トン	R10年度 までの 目標： 5万トン	単年度 目標設 定なし							588,166
	2	次世代航空物 流構築事業 【県・町連 携】	2024年問題や脱炭素社 会など、次世代物流の構 築を目的として、国内貨 物定期便の集貨支援や半 導体貨物への重点的な集 貨支援の取組みを実施す る。	空港 企画 課	航空貨物取 扱量	R5	1.2万 トン	R10年度 までの 目標： 5万トン	単年度 目標設 定なし							104,915
	3	北九州空港整 備事業地元負 担金	滑走路延長をはじめ、 北九州空港の機能強化に 伴う経費を負担する。	空港 企画 課	航空貨物取 扱量	R5	1.2万 トン	R10年度 までの 目標： 5万トン	単年度 目標設 定なし							898,534
東アジアのゲートウェイ 空港を目指した北九州空 港旅客路線・アクセス ネットワーク強化	4	新規航空路線 支援事業 【県・町連 携】	新規航空路線の誘致や 就航路線の安定化を目的 として、航空会社への運 航支援や利用促進などの 取組を実施する。	空港 企画 課	北九州空港 利用者数	R5	118 万人	R10年度 までの 目標： 200万人	単年度 目標設 定なし							187,779
	5	国内線集客促 進事業【苅田 町連携】	ビジネス需要を補完す る新たな旅客需要の取込 みに向け、国内基幹路線 の羽田線の利用促進を目的 として、早朝深夜便の 利用促進や首都圏共同プ ロモーションなどの取組 を実施する。	空港 企画 課	北九州空港 利用者数	R5	118 万人	R10年度 までの 目標： 200万人	単年度 目標設 定なし							13,600

主な施策	事務 事業 番号	主要事務 事業名	事業概要	担当 課	KPI（成果指標①）					KPI（成果指標②）						予算額 (千円)	
					指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値		指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値		
	6	空港受入体制 強化事業【苅 田町連携】	旅客便及び貨物便の受 入に向け、地上支援業務 従事者不足の解消を目的 として、通勤環境改善な どの新規雇用促進支援を 実施する。	空港 企画 課	北九州空港 利用者数	R5	118 万人	R10年度 までの 目標： 200万人	単年度 目標設 定なし								11,285
	7	空港アクセス 強化事業	バス、鉄道などの多様 な交通手段を生かした空 港アクセス強化を目的と して、エアポートバスの 増便(小倉・朽網)や鉄道 との乗継強化、バス待合 環境向上などの取組を実 施する。	空港 企画 課	北九州空港 利用者数	R5	118 万人	R10年度 までの 目標： 200万人	単年度 目標設 定なし								195,700
	8	広域集客促進 事業	国内外の旅客需要の取 込みを目的に、北九州空 港を起点に博多・大分方 面へのアクセス利便性向 上に向け、MaaS事業 (シームレス決済)を実 施する。	空港 企画 課	北九州空港 利用者数	R5	118 万人	R10年度 までの 目標： 200万人	単年度 目標設 定なし								8,340
北九州港の機能強化	9	太刀浦地区土 砂処分場整備 事業	北九州港の東部地区に おける航路や泊地の浚渫 等による港湾機能の維 持・向上のため、新たな 土砂処分場の整備を行 う。	計画 課	公有水面埋 立免許の取 得	—	—	—	環境アセ スの実施 (予測・ 評価)、 公有水面 埋立免許 願書作成								63,800

主な施策	事務 事業 番号	主要事務 事業名	事業概要	担 当 課	KPI（成果指標①）					KPI（成果指標②）						予算額 (千円)	
					指標名	基 準 年 度	基準値	中期 目標	R8目標値		指標名	基 準 年 度	基準値	中期 目標	R8目標値		
北九州港の利用促進	10	海上モーダル シフト促進事 業	2024年問題の解決と物 流における環境負荷低減 の促進を目的として、陸 上輸送から海上輸送への 転換を図るため、フェ リー・RORO航路を初めて 利用する事業者に対する 補助を実施する。	物流 振興 課	北九州港海 上出入貨物 取扱量	R6	10,063 万トン	R11年 までの 目標： 10,900万 トン	単年 目標設 定なし								4,900
	11	港湾利用促進 支援事業	北九州港に寄港する船 会社の航路維持・拡大及 び集貨拡大を目的とし て、新たな航路・貨物に 対する補助を行う。	物流 振興 課	北九州港海 上出入貨物 取扱量	R6	10,063 万トン	R11年 までの 目標： 10,900万 トン	単年 目標設 定なし								47,000
	12	北九州港集貨 航路誘致事業	セミナーの開催や、 様々な媒体を利用したの PR及び官民一体となった ポートセールス活動など を通じて、北九州港への 集貨・航路誘致を行う。	物流 振興 課	北九州港海 上出入貨物 取扱量	R6	10,063 万トン	R11年 までの 目標： 10,900万 トン	単年 目標設 定なし								11,345
産業用地の創出・確保	13	臨海部産業用 地活用事業	臨海部産業用地の維持 管理及び売却・貸付を実 施する。 臨海部産業用地への企 業立地に向け、埋立地の 造成を行う。	港営 課 整備 課	臨海部用地 への分譲促 進	—	—	—	臨海部 用地 年2件以 上の分 譲		新門司埋立 地の分譲完 了	R5	0ha	R14年度 までの 目標： 16.3ha	単年度 目標設 定なし		177,987
風力発電関連産業の「総 合拠点」の形成	14	風力発電関連 産業の総合拠 点形成事業	響灘地区の充実した港 湾インフラと広大な産業 用地を活用し、風力発電 関連産業の総合拠点の形 成を推進する。	洋上 風力 拠点 化推 進課	4つの拠点 機能（「積 出・建設拠 点」「製造 産業拠点」 「物流拠 点」「O&M 拠点」）の 形成	R5	1機能	R12年度 までの 目標： 4機能 (累計)	単年度 目標設 定なし		浮体式拠点 の形成	R5	0箇所	R12年度 までの 目標： 1箇所	単年度 目標設 定なし		316,766

主な施策	事務 事業 番号	主要事務 事業名	事業概要	担当課	KPI（成果指標①）					KPI（成果指標②）					予算額 （千円）		
					指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値	指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値			
Ⅲ「安らぐまち」の実現																	
港湾の防災・減災機能の強化	15	海岸（高潮）事業	高潮の災害から背後地の住居や立地企業を守るため、海岸保全施設の整備を行う。	整備課	後背地防護面積の拡大	H24	0ha	R8年度までの目標：74ha	74	ha							9,000

主な施策	事務 事業 番号	主要事務 事業名	事業概要	担 当 課	KPI（成果指標①）					KPI（成果指標②）					予算額 (千円)	
					指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値	指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値		
Ⅲ「安らぐまち」の実現																
市民への防火意識のさらなる普及啓発	1	火災予防の推進	火災を予防するとともに、いざという時に行動することができるよう、幼少年から高齢者に対する火災予防啓発を推進する。	予防課	住宅用火災警報器の設置率の向上	R7	88.0%	—	R7年度比向上							3,775
	2	消防音楽隊による防火・防災意識の醸成	消防音楽隊の演奏やカラーガード隊の演技を通じて、幅広い世代を対象に消防のPR活動や防火・防災の啓発活動を実施する。	訓練研修センター	聴衆者数の確保	R5	9.2万人	—	12万人							900
救急体制のさらなる強化	3	ICTを活用した救急搬送スピードアップ事業	令和6年度に導入した「患者情報管理システム」の適切な運用を行い、救急活動時間の短縮を図る。	救急課	心肺停止傷病者の1ヵ月生存率の向上	R5	16.4%	R15年度までの目標：26.6%	22.6%							19,298
	4	応急手当の普及啓発活動の推進	不測の事態により傷病者が発生した場合、現場に居合わせた誰もが適切に応急手当を行い、一人でも多くの市民の命を守るため、子どもから大人まで幅広い範囲で、応急手当の普及啓発活動を推進する。	救急課	心肺停止傷病者の1ヵ月生存率の向上	R5	16.4%	R15年度までの目標：26.6%	22.6%							856
	5	救急救命士資格取得研修	市民に対し、高度な救急救命処置ができるように、新規救急救命士や気管挿管認定救命士の養成を行う。	救急課	心肺停止傷病者の1ヵ月生存率の向上	R5	16.4%	R15年度までの目標：26.6%	22.6%							15,340
	6	救急需要増大に伴う救急車の増台	高齢化の進展等により救急需要が増大しており、消防研究センターと行った将来推計では、2035年まで救急出動件数の増加が見込まれている。増大する救急需要に対応するため、運用する救急車を増台する。	救急課	心肺停止傷病者の1ヵ月生存率の向上	R5	16.4%	R15年度までの目標：26.6%	22.6%							0

主な施策	事務 事業 番号	主要事務 事業名	事業概要	担当 課	KPI（成果指標①）					KPI（成果指標②）					予算額 (千円)	
					指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値	指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値		
Ⅰ「稼げるまち」の実現																
海外水ビジネスの推進・支援	1	海外水ビジネスの推進・支援	これまでの国際技術協力により緊密な人的ネットワークを築いている国を対象に、「北九州市海外水ビジネス推進協議会（KOWBA）」を軸に、（株）北九州ウォーターサービスや地元企業の水ビジネス展開を積極的に支援する。	海外事業課	海外技術者育成に係る研修員受入れ	R5	100人	R6～R12年度までの目標：累計700人	100人 （累計401人）		国際技術協力や海外水ビジネス支援	R5	6件	R6～R12年度までの目標：累計42件	6件 （累計20件）	164,289
Ⅲ「安らぐまち」の実現																
上下水道施設の自然災害対策の推進	2	浸水対策事業	大雨による浸水被害を軽減するため、雨水管等の整備を進め、流域全体の浸水に対する安全度の向上を図る。 「北九州市上下水道局雨水対策基本方針」で設定した重点整備地区の整備に取り組む。	下水道計画課	「北九州市上下水道局雨水対策基本方針」で設定した重点整備地区の整備完了地区の増加	R元	0地区	R12年度までの目標：16地区	1地区 （累計10地区の整備完了）							2,650,000
	3	地震対策事業（下水道施設）	大規模な地震が発生した場合においても、最低限の下水処理が行えるように下水道施設の耐震化に取り組む。 浄化センター直前のポンプ場（急所施設）や広域避難地や災害拠点病院などの重要施設に接続するポンプ場の耐震化を優先的に進める。	施設課	急所施設（ポンプ場）の耐震化率の増加	R元	0.0%	R12年度までの目標：100.0%	単年度目標設定なし （累計70.0%）		重要施設に接続するポンプ場の耐震化率の増加	R元	0.0%	R12年度までの目標：66.7%	単年度目標設定なし （累計33.3%）	120,000
	4	地震対策事業（水道施設）	大規模な地震が発生した場合においても、安全で安定的な給水を確保するため水道施設の耐震化に取り組む。	浄水課計画課	浄水施設の耐震化率の増加	R元	33.6%	R10年度までの目標：77.5%	単年度目標設定なし （累計59.2%）		配水池の耐震化率の増加	R元	54.1%	R12年度までの目標：65.7%	単年度目標設定なし （累計60.1%）	326,821

主な施策	事務 事業 番号	主要事務 事業名	事業概要	担 当 課	KPI（成果指標①）					KPI（成果指標②）					予算額 (千円)		
					指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値	指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値			
Ⅱ「彩りあるまち」の実現																	
外国語教育の推進	1	北九州市型外国語教育の推進	北九州市型外国語教育の推進をはじめ、外国語指導助手（ALT）の配置等による指導体制の充実や子どもの学習意欲を高める取組等を実施することにより、北九州市と世界の架け橋となる人材を育成する。	学校教育課	中学校卒業段階で、CEFR A1レベル（英検3級程度）以上の生徒の割合（英語教育実施状況調査：毎年度）	R5	48.3%	R10年度までの目標：60.0%	単年度目標設定なし								305,188
文理の枠を超えた学び・最先端の理工系教育の推進	2	スー1★リケジョchallenge事業	理工系の楽しさを体験できるプログラム等を開催し、理工系分野に関する興味・関心を年間を通して継続的に高められるようにする。	次世代教育推進課	将来の夢や目標を持っていることの割合（全国学力・学習状況調査：毎年度）	R5	小：81.1% 中：66.8%	R10年度までの目標：小：85.0% 中：70.0%	小：84.0% 中：68.5%								7,000
コミュニケーション力や生きる力を身につける教育の推進	3	経済界との連携による学校支援事業	市内企業等と連携して、企業等の人材やノウハウなどを学校教育に生かす。	次世代教育推進課	将来の夢や目標を持っていることの割合（全国学力・学習状況調査：毎年度）	R5	小：81.1% 中：66.8%	R10年度までの目標：小：85.0% 中：70.0%	小：84.0% 中：68.5%								5,500
学校給食の質の向上	4	学校給食の魅力向上（おいしい給食大作戦）	学校給食の魅力向上に向けて、新献立の提供やSNSでの情報発信に取り組むとともに、安全安心で安定的な学校給食を提供する。	学校保健課	給食を「おいしい」と答えた子どもの割合（給食アンケート：毎年度）	R7	R7年度実績値	—	前年度比増								0

主な施策	事務 事業 番号	主要事務 事業名	事業概要	担 当 課	KPI（成果指標①）					KPI（成果指標②）						予算額 (千円)
					指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値		指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値	
ICTを活用した教育環境 の整備	5	情報教育の推 進	教育におけるICT環境の 更なる充実及び学校の教 育活動全体を通じた情報 教育を推進する。	教育 情報 化推 進課	教員が授業 の中で週3 回以上GIGA 端末を活用 する割合の 増加（全国 学力・学習 状況調査： 毎年度）	R5	小学生： 74.8% 中学生： 67.2%	R10年度 までの 目標： 全国平均 値以上	全国平 均値以 上							643,621
特色ある教育環境の整備	6	北九州市立高 等学校の魅力 向上推進事業	北九州市立高等学校の 教育内容の更なる充実を 図るため、企業・大学等 との連携・協働体制の強 化、学習環境の整備等を行 う。	学校 教育 課	「学習を通 じて、自分 がしたいこ とが増えて いる」と回 答する生徒 の割合（高 校魅力化評 価システ ム：毎年 度）	R5	77.8%	R10年度 までの 目標： 80.0%	単年度 目標設 定なし							3,883
教職員の負担軽減による 教育環境の充実	7	システムを活 用した教職員 の負担軽減	校務支援システム等を 活用した事務処理の効率 化や見直し・削減を行 う。	教育 情報 化推 進課	こどもと向 き合う時間 （指導時間 を含む）が 確保できて いると感じ ていると答 えた教職員 の割合（教 育委員会調 査：毎年 度）	R5	65.3%	R10年度 までの 目標： 80.0%	74.0 %							151,760
	8	教員業務支援 員（スクー ル・サポー ト・スタッ フ）の配置事 業	学校現場における業務 改善の一環として、教員 の負担を軽減し、こども と向き合う時間を確保す るため、教員業務支援員 の配置を行う。	教職員課	こどもと向 き合う時間 （指導時間 を含む）が 確保できて いると感じ ていると答 えた教職員 の割合（教 育委員会調 査：毎年 度）	R5	65.3%	R10年度 までの 目標： 80.0%	74.0 %							687,698

主な施策	事務 事業 番号	主要事務 事業名	事業概要	担 当 課	KPI（成果指標①）					KPI（成果指標②）						予算額 (千円)
					指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値		指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値	
「こどもまんなか」の教育施策の推進	9	こどもまんなか教育プラン推進事業	「北九州市こどもまんなか教育プラン」の周知・浸透のために、ワークショップや研修を実施する。	企画調整課	将来の夢や目標を持っているこどもの割合（全国学力・学習状況調査：毎年度）	R5	小： 81.1% 中： 66.8%	R10年度までの目標： 小： 85.0% 中： 70.0%	小： 84.0% 中： 68.5%							1,038
	10	心の教育推進事業	伝統文化や異年齢・地域交流などの体験を生かして、児童生徒が自己の生き方についての考えを深める道徳教育を推進するとともに、先人の業績や地域の歴史に関する学習を深め、郷土を愛する心など豊かな心を育成する。	学校教育課	「自分にはよいところがある」と回答した児童生徒の割合（全国学力・学習状況調査：毎年度）	R5	小6： 80.3% 中3： 78.1%	—	全国平均以上	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思うこどもの割合（全国学力・学習状況調査：毎年度）	R5	小6： 75.3% 中3： 62.3%	R10年度までの目標： 小： 80.0% 中： 70.0%	小6： 80.0% 中3： 70.0%		2,419
	11	AIアプリ導入による個別最適化学習推進事業	北九州市の全ての子どもたちの学力向上を図るため、令和7年9月より供用開始した第2期GIGA端末にAI型学習アプリを導入し、個別最適な学習の機会を公的に確保する。	指導企画課	学習した内容について、わかった点や、よくわからなかった点を見直し、次の学習につなげることができていると回答するこどもの割合（全国学力・学習状況調査：毎年度）	R6	小中学生平均 74.2%	R10年度までの目標： 80.0%	単年度目標設定なし							
本市の特色を活かした教育活動の推進	12	たいけん・まなび充実大作戦	市立小中学校の児童生徒を対象に、学校教育において地域の施設を活用した体験活動の機会を提供することにより、実体験を通じた学習意欲の高まりを促す。	学校教育課	授業が自分に合った教え方、教材、学習時間などになっていると思うこどもの割合（全国学力・学習状況調査：毎年度）	R5	小： 81.7% 中： 73.6%	R10年度までの目標： 小： 85.0% 中： 80.0%	小： 84.0% 中： 80.0%							76,650

主な施策	事務 事業 番号	主要事務 事業名	事業概要	担当 課	KPI（成果指標①）					KPI（成果指標②）					予算額 (千円)	
					指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値	指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R8目標値		
Ⅲ「安らぐまち」の実現																
不登校・いじめ対策の強化	13	不登校・いじめ対策の強化	「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策（COCOLOプラン）」等に基づき、不登校の未然防止、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーなどによる相談体制の充実を進める。 「いじめ防止対策推進法」に基づいた対応の徹底を図るとともに、いじめの未然防止、いじめの積極的な認知と早期の組織的対応、いじめ重大事態への対応、関係機関等との連携などの対策を講じる。	生徒指導課	学校に行くのは楽しいと思うことの割合（全国学力・学習状況調査：毎年度）	R5	小学生：83.8% 中学生：78.9%	R10年度までの目標：小：90.0% 中：85.0%	小学生：88.0% 中学生：83.0%							50,658
学びの機会の確保	14	学びの多様化学校開校準備事業	令和9年4月に開校予定である「学びの多様化学校」を設置するにあたり、北九州市立教育センターの一部を改修し、整備等を行う。また、教育活動や学校運営に必要な環境を確保するため、備品・消耗品を整え、ネットワーク環境を整備する。	指導企画課	学びの多様化学校の開校	—	—	—	開校準備完了							51,685
学校と地域の連携による学校運営	15	学校と地域の連携による学校運営	コミュニティ・スクールを核として、地域との連携・協働を図り、「地域とともにある学校づくり」を推進する。 地域学校協働本部・スクールヘルパー事業をはじめ、様々な市民ボランティア等と連携し、安全・安心な学校づくりや教育活動に係る支援など、各学校の実情に応じて、地域全体で学校教育を支援する取組を進める。	次世代教育推進課	「教育的効果が得られた」と回答した地域学校協働活動実施校の割合（地域学校協働活動事業実施校に対して行うアンケート：毎年度）	R7	R7年度実績値	—	R7年度比増							30,141